

鳥取県がん検診実績報告書

平成15年 3 月

鳥 取 県
鳥取県健康対策協議会

は じ め に

がん検診の精度向上を一層高めるため、平成6年度に「がん検診精度確保事業」が開始されました。その事業の一環として各がん検診に関する全ての記録を一括してまとめ、鳥取県におけるがん検診の実態を総括する意味で平成7年3月に第1報を発刊いたしました。今回は第9報となります。

平成10年度からはがん検診事業費が一般財源化され、市町村の自主判断に委ねられたことにより受診率が減少傾向にあることなど、時代の推移にともなっているいろいろな事態が発生しました。こうした状況の中で、他県に先駆け、平成7年度から肝臓がん検診の実施、平成12年9月から胃がん一次検診における内視鏡検査の導入、講習会の強化、登録条件の見直しなど、鳥取県独自の方式により質的向上を図っており、その結果、平成13年度実績は僅かながら受診率が増加に転じております。

また、鳥取県母子保健対策協議会の設置に伴う母子保健推進体制の整備、平成13年度からのアレルギー対策事業の導入など、新しい時代にむけての新たな取り組みも行っております。

一方、厚生労働省は平成14年度より基本健康診査への肝炎ウイルス検査を導入することとしました。鳥取県は従来肝臓がん検診及び陽性者へのフォローアップ事業を継続し、新規事業と併せて行ってまいります。

大腸がん一次検診においては、平成15年度から便潜血検査1日2個法（1回の採便において、2検体を採取する方法）を推奨することが決定しました。更に、乳がん検診においては、マンモグラフィ併用検診を推進するために必要な読影医を増やすための講習会をマンモグラフィ検診精度管理中央委員会との共催で平成15年10月に開催する予定としております。

今後益々激しく変貌していくことが予想される健康や環境の問題に素早く対処し、地域住民の「健康で心豊かな生活」のために努力して行きたいと存じます。

本書は不備な点もあるかと思いますが、精度管理向上の一助となれば幸いです。

平成15年3月

鳥取県健康対策協議会

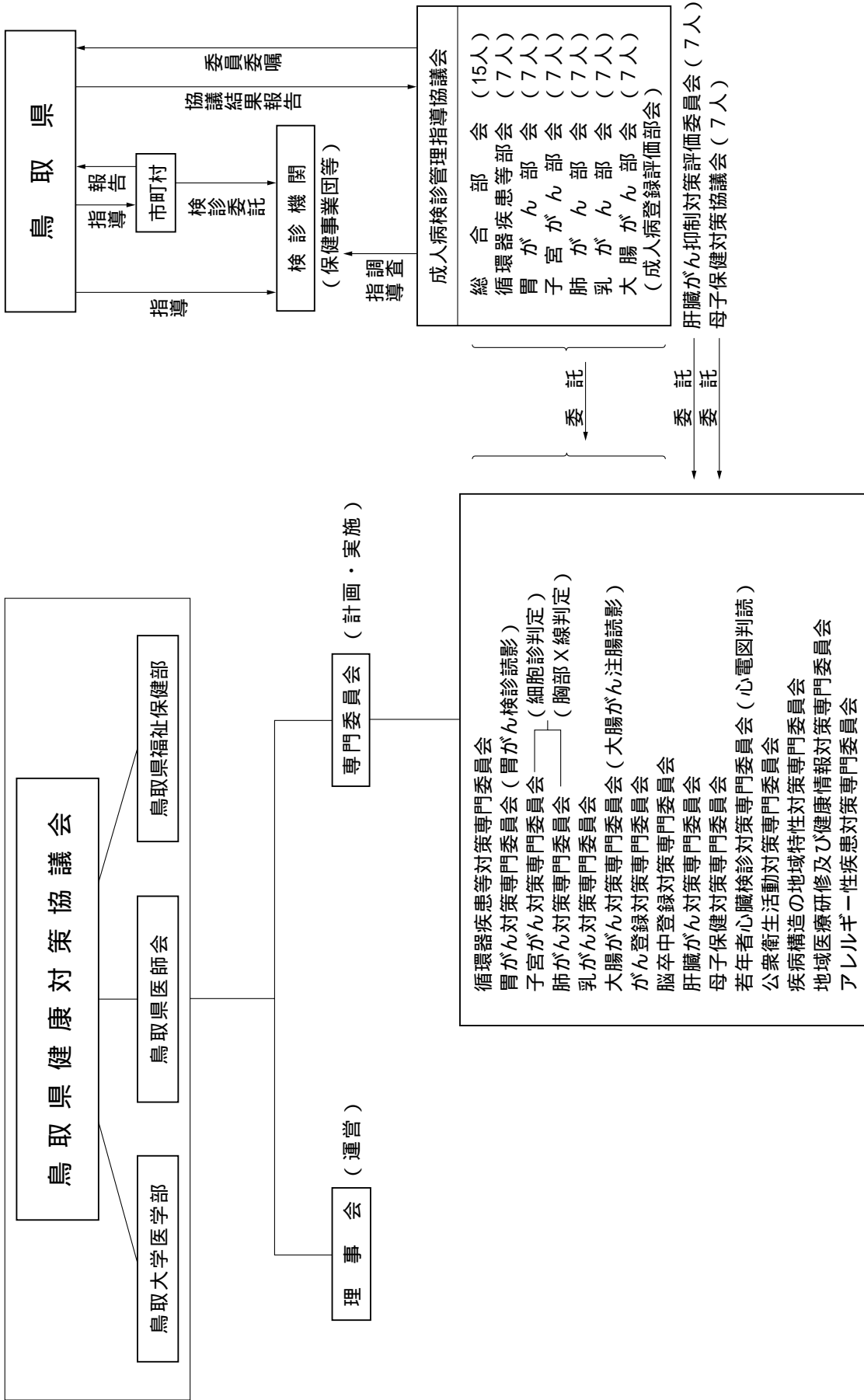
会 長 長 田 昭 夫

目 次

I . 鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図.....	1
II . 平成13年度各がん検診事業実績	
1 . 胃がん検診.....	3
2 . 子宮がん検診.....	13
3 . 肺がん検診.....	21
4 . 乳がん検診.....	32
5 . 大腸がん検診.....	38
6 . 肝臓がん検診.....	46
7 . 全国がん検診実績との比較.....	54
III . 平成14年度各がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況	
1 . 胃がん検診症例研究会報告.....	59
2 . 子宮がん検診症例研究会報告.....	61
3 . 肺がん検診症例研究会報告.....	62
4 . 乳がん検診症例研究会報告.....	65
5 . 大腸がん検診症例研究会報告.....	67
6 . 肝臓がん検診症例研究会報告.....	69
7 . 各地区がん検診症例検討会開催状況.....	72
IV . 各がん検診精密検査医療機関登録について.....	73

I. 鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図

(昭和46年1月26日発足)



Ⅱ . 平成13年度各がん検診事業実績

1 . 胃 が ん 検 診

1 . 胃がん検診実績

対象者数（40歳以上のうち職域等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は167,336人で、このうち受診者数はX線検査33,904人、平成12年度より導入した内視鏡検査は9,732人で合計43,636人であった。受診率は26.1%であった。平成12年度より受診者数は3,279人増加し、受診率は2.7ポイント増加した。平成6年度ピークに受診率が低下傾向であったが、平成12年度に内視鏡検査を導入したことにより、受診率の向上につながっている。

検査の結果、胃がんまたは胃がん疑いであった者は148人発見され（X線検査75人、内視鏡検査73人）がん発見率は0.34%で前年度より0.12ポイント増加した。

X線検査でのがん発見率は0.22%に対し、内視鏡検査でのがん発見率は0.75%で3.4倍も高かった。

平成12年度の全国平均は受診率13.0%、要精検率11.8%、がん発見率0.18%で、鳥取県がいずれも上回っている。

(1) X線検査は39市町村で実施され、受診者数は33,904人で、受診率は20.2%であった。

一次検診の要精検者は4,286人、要精検率は12.6%で、前年度より1.4ポイント減少した。

このうち、精密検査を受診したのは3,212人、精検受診率は74.9%で、前年度より1.8ポイントも増加した。依然として、病院の精検受診率が63.7%と非常に低い。これは要精検者が市町村から紹介状が来るまでに精検を受診するケースがあり、実際には精検を受診していても紹介状が提出されていない場合もあるのではないかとということで、市町村の保健師さんに精検未受診者への受診勧奨及び結果に努めて頂くこととなった。

精検結果は、胃がんまたは胃がん疑いであった者は75人、胃がん発見率は0.22%であった。

(2) 内視鏡検査は平成12年9月より導入し、平成13年度は22市町村で実施した。

受診者数は9,732人で、検査結果は胃がんまたは胃がん疑いであった者は73人が発見され、発見率は0.75%であった。

2 . 胃がん検診発見胃がん追跡調査結果

平成13年度に発見された胃がん及び胃がん疑いについて確定調査を行った結果、確定胃がんは109例（一次検査がX線検査：車検診34例、施設検診33例、一次検査内視鏡検査：42例）であった。

このうち切除例は107例（うち内視鏡切除12例を含む）で、内訳は早期がん80例、進行がん29例で、早期がん率は73.4%で、平成12年度より1.8ポイントも高かった。

性・年齢別では、男性71例、女性38例であった。

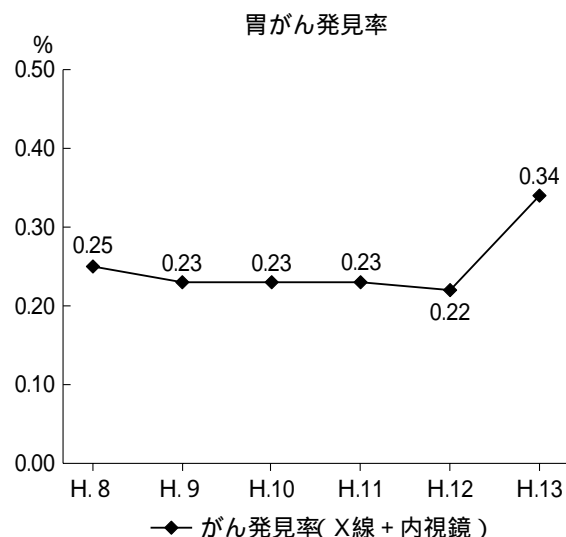
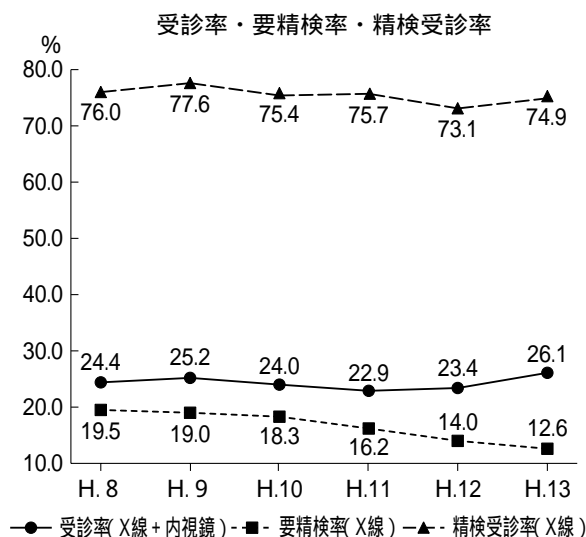
切除例の大きさは2cm以内が43.7%であった。車検診では54.5%、施設検診では31.0%、内視鏡検査では43.9%であった。平成13年度は車検診で小さいものが多い見つかった。

早期がんの肉眼分類は、内視鏡検査が増えた影響か、全国平均に比べ「IIc」が53.8%を占め、進行がんの肉眼分類ではBorr II型が37.9%と多かった。切除例の深達度では「t1」が80例で、そのうちmが50例であった。

また、前年度受診歴を有する進行癌は12例であった。このうち2例は、前年度も要精検と判定され、内視鏡検査を行った結果、所見なしであった。

(1) 胃がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成12年度			平成13年度		
						X線	内視鏡	計	X線	内視鏡	計
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	183,662	175,612	171,250	174,021			172,825			167,336
	受 診 者 数(人)	44,831	44,192	41,165	39,783	36,706	3,651	40,357	33,904	9,732	43,636
	受 診 率 (%)	24.4	25.2	24.0	22.9			23.4			26.1
一 次 検 診 結 果	異 常 認 め ず(人)	36,072	35,782	33,639	33,319	31,556			29,618		
	要 精 検 査(人)	8,759	8,410	7,526	6,464	5,150			4,286		
	要精検者の割合 (%)	19.5	19.0	18.3	16.2	14.0			12.6		
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	6,659	6,523	5,671	4,894	3,766			3,212		
	受 診 率 (%)	76.0	77.6	75.4	75.7	73.1			74.9		
精 密 検 査 結 果	胃がん又はがんの疑いのある者(人)	114	103	95	90	64	23	87	75	73	148
	胃がん発見率 (%)	0.25	0.23	0.23	0.23	0.17	0.63	0.22	0.22	0.75	0.34
追 跡 調 査 結 果	確 定 が ん 数(人)	109	93	84	82			79			109
	確 定 が ん 率 (%)	0.24	0.21	0.20	0.21			0.20			0.25



(2) 平成13年度胃がんX線検診

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年 齢	一 次 検 診 受 診 者 数(人)		一 次 検 診 結 果				要 精 検 率 (%)	
			要 精 検 査 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	526	1,068	70	90	456	978	13.3	8.4
45 ~ 49	674	1,327	90	115	584	1,212	13.4	8.7
50 ~ 54	965	2,431	160	205	805	2,226	16.6	8.4
55 ~ 59	797	2,344	125	224	672	2,120	15.7	9.6
60 ~ 64	1,660	3,524	276	360	1,384	3,164	16.6	10.2
65 ~ 69	2,375	4,395	383	528	1,992	3,867	16.1	12.0
70 ~ 74	2,337	3,900	387	478	1,950	3,422	16.6	12.3
75 ~ 79	1,519	2,287	253	282	1,266	2,005	16.7	12.3
80歳以上	773	1,002	130	130	643	872	16.8	13.0
計	11,626	22,278	1,874	2,412	9,752	19,866	16.1	10.8
合 計	33,904		4,286		29,618		12.6	

2) 胃がんX線検診精密検査結果(年齢階級別)

年 齢	精密検査 受診者数 (人)		精密検査 受診率 (%)		精 密 検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
					異常認めず		その他疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	43	61	61.4	67.8	17	21	26	40	0	0	0	0	0.000	0.000
45 ~ 49	51	86	56.7	74.8	18	36	33	49	0	1	0	0	0.000	0.075
50 ~ 54	86	152	53.8	74.1	30	61	55	91	0	0	1	0	0.104	0.000
55 ~ 59	78	162	62.4	72.3	23	61	52	99	0	0	3	2	0.376	0.085
60 ~ 64	193	284	69.9	78.9	54	115	132	167	0	0	7	2	0.421	0.057
65 ~ 69	280	414	73.1	78.4	73	146	199	261	2	1	6	6	0.337	0.159
70 ~ 74	299	390	77.3	81.6	69	126	216	256	1	0	13	8	0.599	0.205
75 ~ 79	212	232	83.8	82.3	53	74	152	153	0	0	7	5	0.461	0.219
80歳以上	98	91	75.4	70.0	18	24	70	67	0	0	10	0	1.294	0.000
計	1,340	1,872	71.5	77.6	355	664	935	1,183	3	2	47	23	0.430	0.112
合 計	3,212		74.9		1,019		2,118		5		70		0.221	

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診 機 関	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	7,244	13,514	996	1,110	6,248	12,404	13.7	8.2
中国労働衛生協会	169	286	24	29	145	257	14.2	10.1
病 院	1,466	2,968	362	609	1,104	2,359	24.7	20.5
診 療 所	2,747	5,510	492	664	2,255	4,846	17.9	12.1
計	11,626	22,278	1,874	2,412	9,752	19,866	16.1	10.8
合 計	33,904		4,286		29,618		12.6	

b. 精密検査結果

一次検診 機 関	精密検査 受診者数 (人)		精密検査 受診率 (%)		精 密 検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
					異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	742	927	74.5	83.5	196	330	519	586	3	1	24	10	0.373	0.081
中国労働衛生協会	18	29	75.0	100.0	5	11	13	16	0	0	0	2	0.000	0.699
病 院	219	400	60.5	65.7	75	174	139	220	0	1	5	5	0.341	0.202
診 療 所	361	516	73.4	77.7	79	149	264	361	0	0	18	6	0.655	0.109
計	1,340	1,872	71.5	77.6	355	664	935	1,183	3	2	47	23	0.430	0.112
合 計	3,212		74.9		1,019		2,118		5		70		0.221	

4) 平成13年度鳥取県胃がんX線検診受診状況

市町村名	対象者数			受診者数			要精密検査者			検査結果			人員				
	A	B	C	D=B+C	E=D/A (%)	F	G	H=F+G	I=H/D (%)	J	K=J/H (%)	L	M	N	O	P	Q=(N+O)/D (%)
鳥取市	38,000	510	4,630	5,140	13.5	46	823	869	16.9	531	61.1	190	320	0	21	341	0.409
米子市	39,095	859	4,190	5,049	12.9	92	639	731	14.5	584	79.9	150	424	0	10	434	0.198
倉吉市	11,668	1,352	239	1,591	13.6	144	71	215	13.5	171	79.5	40	130	0	1	131	0.063
境港市	11,631	122	1,047	1,169	10.1	13	145	158	13.5	147	93.0	31	111	2	3	116	0.428
国府町	982	572	55	627	63.8	50	6	56	8.9	41	73.2	12	28	0	1	29	0.159
岩美町	2,940	848	158	1,006	34.2	86	41	127	12.6	93	73.2	53	38	0	2	40	0.199
福部村	903	131	130	261	28.9	7	22	29	11.1	15	51.7	4	11	0	0	11	0.000
都家町	1,517	716	86	802	52.9	67	13	80	10.0	60	75.0	26	34	0	0	34	0.000
船岡町	1,443	514		514	35.6	48		48	9.3	36	75.0	19	16	0	1	17	0.195
河原町	2,699	528	135	663	24.6	55	33	88	13.3	61	69.3	25	36	0	0	36	0.000
八東町	1,664	649		649	39.0	65		65	10.0	54	83.1	8	45	0	1	46	0.154
若桜町	895	471		471	52.6	53		53	11.3	41	77.4	16	23	0	2	25	0.425
用瀬町	1,380	292	16	308	22.3	30	3	33	10.7	25	75.8	6	19	0	0	19	0.000
佐治村	1,120	222	41	263	23.5	17	7	24	9.1	13	54.2	6	7	0	0	7	0.000
智頭町	2,960	860	331	1,191	40.2	54	49	103	8.6	78	75.7	23	53	0	2	55	0.168
気高町	2,102	519	364	883	42.0	56	90	146	16.5	111	76.0	45	63	0	3	66	0.340
青谷町	1,580	79	516	595	37.7	7	52	59	9.9	35	59.3	14	20	0	1	21	0.168
鹿野町	3,076	680	144	824	26.8	53	27	80	9.7	61	76.3	29	30	0	2	32	0.243
羽台町	976	546	20	566	58.0	72	7	79	14.0	62	78.5	8	52	0	2	54	0.353
油村	658	88	34	122	18.5	15	11	26	21.3	18	69.2	11	7	0	0	7	0.000
東郷町	1,915	429	53	482	25.2	40	6	46	9.5	32	69.6	12	18	0	2	20	0.415
三朝町	1,626	621		621	38.2	73		73	11.8	56	76.7	8	48	0	0	48	0.000
関金町	1,791	458		458	25.6	46		46	10.0	38	82.6	11	27	0	0	27	0.000
北条町	2,073	442	82	524	25.3	52	15	67	12.8	44	65.7	18	25	0	1	26	0.191
大栄町	2,066	869		869	42.1	97		97	11.2	79	81.4	34	43	0	2	45	0.230
東伯町	4,239	1,192		1,192	28.1	132		132	11.1	105	79.5	35	68	1	1	70	0.168
赤碕町	2,747	762	10	772	28.1	62	1	63	8.2	55	87.3	14	40	0	1	41	0.130
西伯町	1,831	278	285	563	30.7	33	36	69	12.3	55	79.7	8	46	0	1	47	0.178
糸見町	1,771	314		314	17.7	35		35	11.1	25	71.4	10	13	0	2	15	0.637
岸本町	3,100	600		600	19.4	56		56	9.3	43	76.8	8	34	0	1	35	0.167
日吉津村	476	225		225	47.3	17		17	7.6	15	88.2	5	10	0	0	10	0.000
淀江町	3,577	557	77	634	17.7	62	19	81	12.8	64	79.0	13	50	0	1	51	0.158
大山町	2,126	506	20	526	24.7	36	1	37	7.0	36	97.3	7	29	0	0	29	0.000
名和町	1,182	427		427	36.1	38		38	8.9	29	76.3	12	16	1	0	17	0.234
中山町	1,344	477		477	35.5	57		57	11.9	47	82.5	7	40	0	0	40	0.000
日南町	3,329	902	25	927	27.8	129	10	139	15.0	116	83.5	58	54	1	3	58	0.431
日野町	1,388	567		567	40.9	49		49	8.6	38	77.6	5	32	0	1	33	0.176
江府町	2,155	467	3	470	21.8	54	0	54	11.5	47	87.0	16	29	0	2	31	0.426
溝口町	1,316	562		562	42.7	61		61	10.9	51	83.6	22	29	0	0	29	0.000
合計	167,336	21,213	12,691	33,904	20.3	2,159	2,127	4,286	12.6	3,212	74.9	1,019	2,118	5	70	2,193	0.221

(3) 平成13年度胃がん内視鏡検診

1) 年齢階級別結果

年 齢	一次検診 受診者数 (人)		検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
			異常認めず		その他疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	120	177	49	95	70	82	1	0	0	0	0.833	0.000
45 ~ 49	127	210	70	128	57	82	0	0	0	0	0.000	0.000
50 ~ 54	257	468	129	248	127	217	1	1	0	2	0.389	0.641
55 ~ 59	203	517	101	302	100	214	2	0	0	1	0.985	0.193
60 ~ 64	463	917	241	506	217	407	2	1	3	3	1.080	0.436
65 ~ 69	805	1,242	375	669	422	572	0	0	8	1	0.994	0.081
70 ~ 74	867	1,183	400	628	460	549	3	2	4	4	0.807	0.507
75 ~ 79	561	776	253	378	296	391	4	3	8	4	2.139	0.902
80歳以上	314	525	157	283	145	239	4	2	8	1	3.822	0.571
計	3,717	6,015	1,775	3,237	1,894	2,753	17	9	31	16	1.291	0.416
合 計	9,732		5,012		4,647		26		47		0.750	

2) 検診機関別結果

検診機関	一次検診 受診者数 (人)		検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
			異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
病 院	1,166	1,572	474	709	672	857	12	4	8	2	1.715	0.382
診 療 所	2,551	4,443	1,301	2,528	1,222	1,896	5	5	23	14	1.098	0.428
計	3,717	6,015	1,775	3,237	1,894	2,753	17	9	31	16	1.291	0.416
合 計	9,732		5,012		4,647		26		47		0.750	

3) 平成13年度胃がん内視鏡検診受診状況

市町村名	検 査 結 果 別 人 員						がん発見率 (%) $G = (D + E) / A$
	受診者数 A	異常認めず B	その他の病 疾 C	がん疑い D	が ん E	異常者総計 F = C + D + E	
鳥取市	2,904	1,096	1,777	17	14	1,808	1.067
米子市	4,113	2,316	1,768	4	25	1,797	0.705
倉吉市	383	261	120	0	2	122	0.522
境港市	946	579	364	1	2	367	0.317
国府町	39	17	22	0	0	22	0.000
岩美町	89	41	48	0	0	48	0.000
福部村	60	29	31	0	0	31	0.000
郡家町	41	12	29	0	0	29	0.000
船岡町							
河原町	65	13	52	0	0	52	0.000
八東町							
若桜町							
用瀬町							
佐治村	166	139	27	0	0	27	0.000
智頭町	53	19	31	3	0	34	5.660
気高町	186	62	124	0	0	124	0.000
鹿野町	155	144	11	0	0	11	0.000
青谷町							
羽合町	20	11	9	0	0	9	0.000
泊村	131	112	19	0	0	19	0.000
東郷町	23	12	11	0	0	11	0.000
三朝町							
関金町							
北条町	86	31	54	1	0	55	1.163
大栄町							
東伯町							
赤碕町	24	5	19	0	0	19	0.000
西伯町							
会見町							
岸本町							
日吉津村							
淀江町	75	13	59	0	3	62	4.000
大山町	29	11	17	0	1	18	3.448
名和町							
中山町							
日南町	22	14	8	0	0	8	0.000
日野町							
江府町							
溝口町	122	75	47	0	0	47	0.000
合計	9,732	5,012	4,647	26	47	4,720	0.750

(4) 平成13年度胃がん検診受診状況 (X線 + 内視鏡)

市町村名	対象者数 A	受診者数				X線検診精密検査及内視鏡検診結果別人員						
		X線 受診者 B	内視鏡 受診者 C	計 D = B + C	受診率 (%) E = D / A	異常 認めず F	その他 の疾病 G	が ん 疑 い H	が ん I	異常者 総計 J = G + H + I	がん発見率 (%) K = (H + I) / D	
鳥取市	38,000	5,140	2,904	8,044	21.2	1,286	2,097	17	35	2,149	0.646	
米子市	39,095	5,049	4,113	9,162	23.4	2,466	2,192	4	35	2,231	0.426	
倉吉市	11,668	1,591	383	1,974	16.9	301	250	0	3	253	0.152	
境港市	11,631	1,169	946	2,115	18.2	610	475	3	5	483	0.378	
国府町	982	627	39	666	67.8	29	50	0	1	51	0.150	
岩美町	2,940	1,006	89	1,095	37.2	94	86	0	2	88	0.183	
福部村	903	261	60	321	35.5	33	42	0	0	42	0.000	
郡家町	1,517	802	41	843	55.6	38	63	0	0	63	0.000	
船岡町	1,443	514	0	514	35.6	19	16	0	1	17	0.195	
河原町	2,699	663	65	728	27.0	38	88	0	0	88	0.000	
八東町	1,664	649	0	649	39.0	8	45	0	1	46	0.154	
若桜町	895	471	0	471	52.6	16	23	0	2	25	0.425	
用瀬町	1,380	308	0	308	22.3	6	19	0	0	19	0.000	
佐治村	1,120	263	166	429	38.3	145	34	0	0	34	0.000	
智頭町	2,960	1,191	53	1,244	42.0	42	84	3	2	89	0.402	
気高町	2,102	883	186	1,069	50.9	107	187	0	3	190	0.281	
鹿野町	1,580	595	155	750	47.5	158	31	0	1	32	0.133	
青谷町	3,071	824	0	824	26.8	29	30	0	2	32	0.243	
羽合町	976	566	20	586	60.0	19	61	0	2	63	0.341	
泊村	658	122	131	253	38.4	123	26	0	0	26	0.000	
東郷町	1,915	482	23	505	26.4	24	29	0	2	31	0.396	
三朝町	1,626	621	0	621	38.2	8	48	0	0	48	0.000	
関金町	1,791	458	0	458	25.6	11	27	0	0	27	0.000	
北条町	2,073	524	86	610	29.4	49	79	1	1	81	0.328	
大栄町	2,066	869	0	869	42.1	34	43	0	2	45	0.230	
東伯町	4,239	1,192	0	1,192	28.1	35	68	1	1	70	0.168	
赤碕町	2,747	772	24	796	29.0	19	59	0	1	60	0.126	
西伯町	1,831	563	0	563	30.7	8	46	0	1	47	0.178	
会見町	1,771	314	0	314	17.7	10	13	0	2	15	0.637	
岸本町	3,100	600	0	600	19.4	8	34	0	1	35	0.167	
日吉津村	476	225	0	225	47.3	5	10	0	0	10	0.000	
淀江町	3,577	634	75	709	19.8	26	109	0	4	113	0.564	
大山町	2,126	526	29	555	26.1	18	46	0	1	47	0.180	
名和町	1,182	427	0	427	36.1	12	16	1	0	17	0.234	
中山町	1,344	477	0	477	35.5	7	40	0	0	40	0.000	
日南町	3,329	927	22	949	28.5	72	62	1	3	66	0.421	
日野町	1,388	567	0	567	40.9	5	32	0	1	33	0.176	
江府町	2,155	470	0	470	21.8	16	29	0	2	31	0.426	
溝口町	1,316	562	122	684	52.0	97	76	0	0	76	0.000	
合計	167,336	33,904	9,732	43,636	26.1	6,031	6,765	31	117	6,913	0.339	

(5) 平成13年度胃がん検診発見胃がん患者追跡調査報告

表1 報告胃がん追跡調査

地区 検診別	東 部			中 部			西 部			計
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
確 定 胃 癌 発 見 率	13	21	13	9	0	2	12	12	27	109 0.250
	47 (0.262)			11 (0.140)			52 (0.292)			
早 期 癌 (%)	10	14	10	8	0	2	8	8	20	80 (73.4)
	34 (72.3)			10 (90.9)			36 (69.2)			
進 行 癌	3	7	3	1	0	0	4	4	7	29
切 除 例	13	20	13	9	0	2	12	12	26	107
非 切 除 例	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2

手術拒否..... 1 手術不能..... 1
EMR : 東 (5) 中 (3) 西 (4)

表2 性・年齢別

	40 49	50 59	60 69	70 79	80	計
男	0	4	19	31	16	70 + 1
女	0	5	12	19	2	38

表3 早期がんの肉眼分類

	東 部			中 部			西 部			計 (%)
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
I	1	1	1	0	0	0	0	3	4	10 (12.5)
II a	1	1	1	4	0	0	0	2	0	9 (11.2)
II c	4	9	6	2	0	2	6	2	12	43 (53.8)
II c + III	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2 (2.5)
II a + II c	3	2	0	1	0	0	1	1	1	9 (11.2)
そ の 他	1	1	2	1	0	0	0	0	2	7 (8.8)
計	10	14	10	8	0	2	8	8	20	80

表4 進行がんの肉眼分類

	東 部			中 部			西 部			計 (%)
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(0.0)
2	0	2	1	0	0	0	3	3	2	11(37.9)
3	1	1	1	0	0	0	1	0	2	6(20.7)
4	2	1	0	1	0	0	0	0	0	4(13.8)
5	0	1	1	0	0	0	0	1	3	6(20.7)
不 明	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2(6.7)
計	3	7	3	1	0	0	4	4	7	29

表5 切除例の深達度

	東 部			中 部			西 部			計
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
t 1	10	14	10	8	0	2	8	8	20	80
m	5	11	4	5	0	2	6	6	11	50
t 2	1	3	2	0	0	0	4	3	4	17
t 3	2	2	1	1	0	0	0	1	2	9
t 4	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
計	13	20	13	9	0	2	12	12	27	108
不 明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

表6 切除例の大きさ

mm	~ 10	11 ~ 20	小計 (%)	21 ~ 50	51 ~	計	不 明
車 検 診	4	14	18(54.5)	9	6	33	1
施 設 検 診	3	6	9(31.0)	12	8	29	4
内 視 鏡 検 診	7	11	18(43.9)	18	5	41	1
計	14	31	45(43.7)	39	19	103	6

表 7 1 早期癌の占拠部位

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
U	5	0	7
M	12	11	12
L	9	10	12
全 体	0	0	0
計	26	21	31
不 明	0	1	1

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
小 弯	13	9	5
大 弯	2	4	5
前 壁	4	4	10
後 壁	7	4	11
全 周	0	0	0
計	26	21	31
不 明	0	1	1

表 7 2 進行癌の占拠部位

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
U	1	3	3
M	3	6	5
L	3	0	1
全 体	1	1	1
計	8	10	10
不 明	0	1	0

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
小 弯	1	2	6
大 弯	1	2	0
前 壁	1	0	1
後 壁	2	5	1
全 周	3	1	2
計	8	10	10
不 明	0	1	0

表 8 前年度受診歴を有する進行癌症例

地 区	検 診	歳	性	型	深達度	組織型	大きさ (mm)	占拠部位
東 部	車 検 診	64	男	4	t3(se)	Por2	30×100	MU全周
	施設検診	72	女	5	t2(mp)	Por2	25×35	M後壁
	施設検診	72	男	2	t2(ss)	Tub2	45×60	MU大弯
	施設検診	79	男	2	t4(si)	pap	40×45	U大弯後壁
	内視鏡検診	75	男	5	t2(mp)	sig	20×35	M小弯
	内視鏡検診	77	男	2	t2(mp)	Tub1	40×75	UNL全周
西 部	車 検 診	67	女	2	t2(mp)	Por2	15×25	U後壁
	車 検 診	72	男	2	t2(mp)	Tub2	25×25	L前壁
	車 検 診	76	男	3	t2(?)	Tub2	40×60	ML大弯
	車 検 診	77	女	2	t2(ss)	Por1	60×90	L小弯
	施設検診	74	女	2	t2(mp)	Por1	25×30	M小弯
	内視鏡検診	82	男	5	t2(mp)	Por1	28×30	U後壁

2. 子宮がん検診

1. 子宮がん検診実績

平成13年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は121,326人で、このうち受診者数は26,486人（「頸部のみ」25,822人、「頸部+体部」664人）で受診率は21.8%であった。平成12年度より対象者は3,336人、受診者数は689人増加し、受診率は1.1ポイント増加した。受診者率は2年続けて増加している。

また、一次検診受診者の経年受診率は81.1%であった。

要精検者数は148人（車検診：50人、施設検診：98人）、要精検率は0.56%で前年度より0.13ポイント増加した。

このうち、精密検査を受診したのは124人、精検受診率は83.8%で前年度より0.2ポイント増加した。

精検結果は、子宮がん8人、異形成41人の合計49人であり、子宮がん発見率は0.19%で、前年度より0.04ポイント増加した。

年代別にみると受診率は40～44歳が高く、要精検率、がん発生率は30～39歳が高かった。

2. 子宮体部がん検診

子宮がん検診受診者数26,486人中、体部がん検診対象者数は785人で、一次検診会場での受診者は664人、また一次検診会場で受診できず医療機関で別途検査した者が79人で、受診者の合計は743人で、受診率は94.6%であった。

一次検診の結果、要精検となった者は37人、要精検率5.57%で、精検受診者数34人、精検受診率は91.9%であった。

精検の結果、子宮体部がんは一次検診会場の受診者から2人、医療機関での検査受診者からはがんは発見されなかった。子宮内膜増殖症は一次検診会場での受診者からは6人、医療機関での検査受診者から2人、計8人が発見された。がん発見率は1.35%であった。

体部がん検診の受診者は年々僅かながら増えているが、子宮がんの35%は体部がんが占めると言われていることからすると、まだまだ受診者が少ないので、受診勧奨する必要がある。

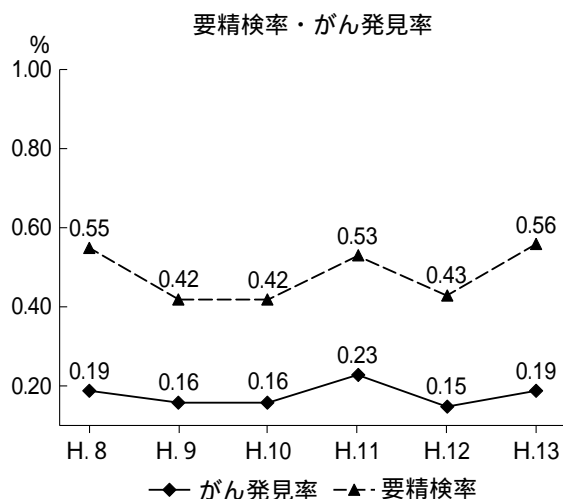
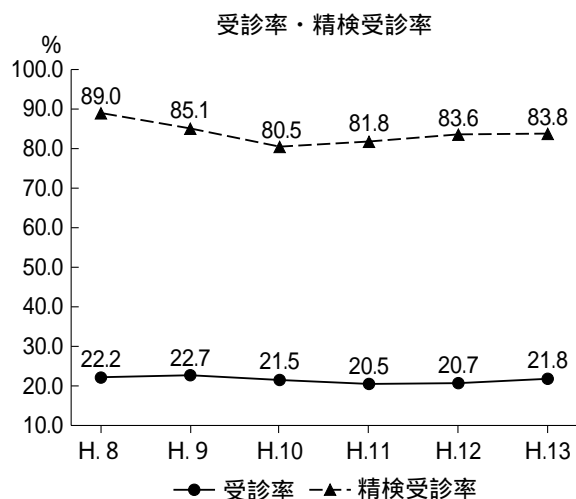
3. 子宮がん検診発見子宮がん追跡調査果

平成13年度は子宮頸部がん8名、異形成41名であった。I b期以上が3例で、全て初回受診者であった。平成12年度はI b期以上が6例で、そのうち初回受診者は5例であった。

また、子宮体部がんが2例、子宮内膜増殖症は9例であった。

(1) 子宮頸部がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分	平成 8 年度	平成 9 年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	132,865	127,386	124,486	126,103	124,662	121,326
	受 診 者 数(人)	29,486	28,953	26,787	25,874	25,797	26,486
	受 診 率(%)	22.2	22.7	21.5	20.5	20.7	21.8
一次検診結果	異 常 認 め ず(人)	29,323	28,832	26,674	25,737	25,687	26,338
	要 精 検 (人)	163	121	113	137	110	148
	要精検者の割合(%)	0.55	0.42	0.42	0.53	0.43	0.56
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	145	103	91	112	92	124
	受 診 率(%)	89.0	85.1	80.5	81.8	83.6	83.8
精密検査結果	子宮がん又は異形成の者(人)	56	47	42	59	39	49
	精検受診者に占めるがん・がん疑いの割合(%)	38.6	45.6	46.2	52.7	42.4	39.5
	子宮がん発見率(%)	0.19	0.16	0.16	0.23	0.15	0.19
追跡調査結果	確 定 が ん 数(人)	19	11	5	19	10	8
	確 定 が ん 率(%)	0.06	0.04	0.02	0.07	0.04	0.03



(2) 平成13年度子宮頸部がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年 齢	対象者数(人)	一次検診受診者数(人)	受診率(%)	一次検診結果		要精検率(%)
				要精検者数	異常認めず	
30 ~ 34	7,322	1,327	18.1	15	1,312	1.13
35 ~ 39	7,507	1,747	23.3	23	1,724	1.32
40 ~ 44	7,937	2,463	31.0	18	2,445	0.73
45 ~ 49	9,358	2,481	26.5	20	2,461	0.81
50 ~ 54	11,147	3,430	30.8	17	3,413	0.50
55 ~ 59	10,921	2,786	25.5	16	2,770	0.57
60 ~ 64	14,066	3,795	27.0	13	3,782	0.34
65 ~ 69	14,800	4,085	27.6	15	4,070	0.37
70歳以上	38,268	4,372	11.4	11	4,361	0.25
計	121,326	26,486	21.8	148	26,338	0.56

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)	精密検査受診率(%)	精 密 検 査 結 果				子宮がん発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異形成	子宮がん	
30 ~ 34	14	93.3	4	2	7	1	0.603
35 ~ 39	17	73.9	5	4	7	1	0.458
40 ~ 44	17	94.4	4	3	8	2	0.406
45 ~ 49	17	85.0	7	3	4	3	0.282
50 ~ 54	16	94.1	10	5	1	0	0.029
55 ~ 59	15	93.8	8	2	5	0	0.179
60 ~ 64	6	46.2	1	3	2	0	0.053
65 ~ 69	11	73.3	3	3	4	1	0.122
70歳以上	11	100.0	3	5	3	0	0.069
計	124	83.8	45	30	41	8	0.185

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
保健事業団	12,216	50	12,166	0.41
病 院	5,851	34	5,817	0.58
診 療 所	8,419	64	8,355	0.76
計	26,486	148	26,338	0.56

b. 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)	精密検査受診率(%)	精 密 検 査 結 果				子宮がん発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異形成	子宮がん	
保健事業団	40	80.0	15	13	11	1	0.098
病 院	31	91.2	12	7	10	2	0.205
診 療 所	53	82.8	18	10	20	5	0.297
計	124	83.8	45	30	41	8	0.185

4)平成13年度子宮頸部がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果		異常者		がん発見率 (%) Q(N+O)/D						
	A	B	C	D=B+C	E=D/A	F	G	H=F+G	I=H/D	J		K=(%) J/H	L	M	N	O	P
鳥取市	29,800	614	2,949	3,563	12.0	2	22	24	0.7	20	83.3	8	6	4	2	12	0.168
米子市	28,930	4	5,518	5,522	19.1	0	40	40	0.7	38	95.0	11	6	18	3	27	0.380
倉吉市	7,384	319	960	1,279	17.3	1	10	11	0.9	8	72.7	4	0	4	0	4	0.313
境港市	8,386		965	965	11.5		5	5	0.5	5	100.0	2	1	0	2	3	0.207
国府町	712	471	50	521	73.2	3	0	3	0.6	3	100.0	1	2	0	0	2	0.000
岩美町	2,333	701		701	30.0	4		4	0.6	4	100.0	2	2	0	0	2	0.000
福部村	688	91	103	194	28.2	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000
郡家町	1,102	616	78	694	63.0	2	0	2	0.3	2	100.0	0	0	2	0	2	0.288
船岡町	1,042	338		338	32.4	1		1	0.3	1	100.0	0	0	1	0	1	0.296
河原町	1,947	354	129	483	24.8	3	1	4	0.8	3	75.0	1	1	1	0	2	0.207
八東町	1,130	365		365	32.3	1		1	0.3	1	100.0	0	1	0	0	1	0.000
若桜町	705	436		436	61.8	3		3	0.7	2	66.7	1	1	0	0	1	0.000
用瀬町	927	109	110	219	23.6	1	0	1	0.5	0	0.0					0	0.000
佐治村	721	212	41	253	35.1	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000
智頭町	1,855	566	131	697	37.6	1	4	5	0.7	5	100.0	2	2	1	0	3	0.143
気高町	1,501	81	415	496	33.0	0	1	1	0.2	1	100.0	0	0	1	0	1	0.202
鹿野町	1,002	162	110	272	27.1	1	1	2	0.7	1	50.0	0	1	0	0	1	0.000
青谷町	2,191	243	55	298	13.6	1	2	3	1.0	2	66.7	0	1	1	0	2	0.336
羽合町	909	136	308	444	48.8	0	2	2	0.5	1	50.0	1	0	0	0	0	0.000
泊村	484	146	66	212	43.8	0	1	1	0.5	1	100.0	0	1	0	0	1	0.000
東郷町	1,337	161	138	299	22.4	0	3	3	1.0	0	0.0					0	0.000
三朝町	1,305	458		458	35.1	2		2	0.4	1	50.0	0	0	1	0	1	0.218
関金町	1,284	361		361	28.1	0		0	0.0	0	0.0					0	0.000
北条町	1,634	373	89	462	28.3	1	3	4	0.9	2	50.0	1	1	0	0	1	0.000
大栄町	1,547	914		914	59.1	3		3	0.3	3	100.0	0	1	2	0	3	0.219
東伯町	2,720	848		848	31.2	5		5	0.6	3	60.0	1	2	0	0	2	0.000
赤碕町	1,989	547	25	572	28.8	2	0	2	0.3	2	100.0	1	0	1	0	1	0.175
西伯町	1,186		267	267	22.5		0	0	0.0	0	0.0					0	0.000
倉見町	1,042	209	22	231	22.2	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000
岸本町	2,330	391	133	524	22.5	3	0	3	0.6	3	100.0	1	0	2	0	2	0.382
日吉津村	476	36	237	273	57.4	0	1	1	0.4	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
淀江町	2,553	63	506	569	22.3	1	0	1	0.2	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
大山町	1,489	336	25	361	24.2	1	1	2	0.6	2	100.0	1	1	0	0	1	0.000
名和町	1,035	115	267	382	36.9	1	0	1	0.3	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
中山町	748	203	47	250	33.4	3	0	3	1.2	2	66.7	2	0	0	0	0	0.000
日南町	1,786	539		539	30.2	3		3	0.6	3	100.0	2	0	0	1	1	0.186
日野町	972	359	46	405	41.7	1	0	1	0.2	1	100.0	0	0	1	0	1	0.247
江府町	1,410	4	352	356	25.2	0	1	1	0.3	1	100.0	0	0	1	0	1	0.281
溝口町	734	335	128	463	63.1	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0.000
合計	121,326	12,216	14,270	26,486	21.8	50	98	148	0.6	124	83.8	45	30	41	8	79	0.185

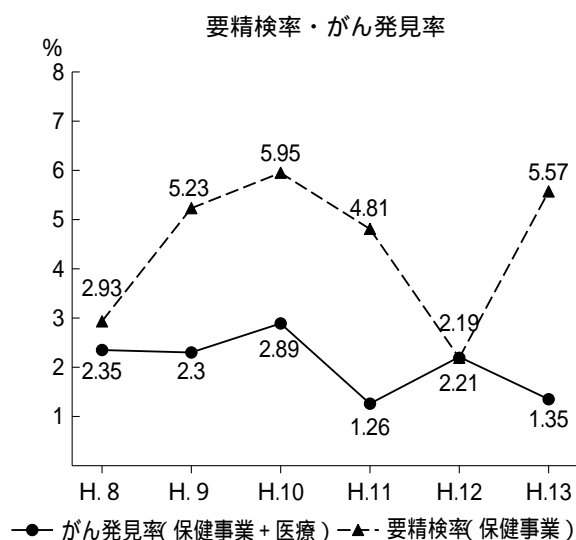
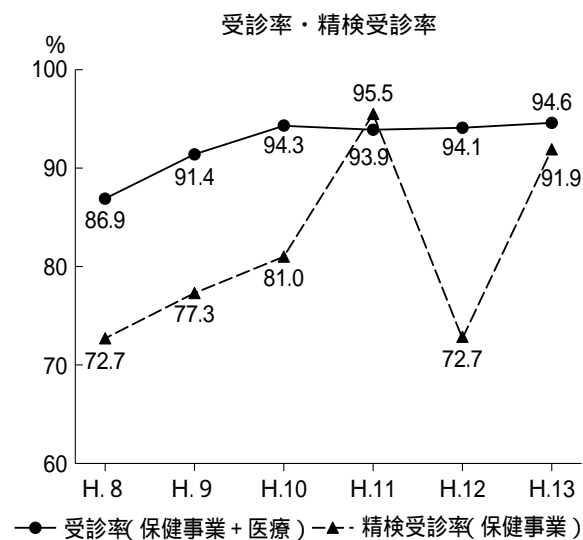
(3) 子宮体部がん検診の受診者数及び受診率の推移

区	分	平成 8 年度			平成 9 年度			平成 10 年度		
		保 健 事業分	医療分	合計	保 健 事業分	医療分	合計	保 健 事業分	医療分	合計
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	490		490	524		524	404		404
	受 診 者 数(人)	375	51	426	421	58	479	353	28	381
	受 診 率(%)	76.5		86.9	80.3		91.4	87.4		94.3
一次検診結果	異 常 認 め ず(人)	364			399			332		
	要 精 検(人)	11			22			21		
	要精検者の割合(%)	2.93			5.23			5.95		
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	8			17			17		
	受 診 率(%)	72.7			77.3			81.0		
精密検査結果	子宮がん又はがんの 疑いのある者(人)	3	7	10	8	3	11	6	5	11
	子宮がん発見率(%)	0.80	13.73	2.35	1.90	5.17	2.30	1.70	17.86	2.89

区	分	平成 11 年度			平成 12 年度			平成 13 年度		
		保 健 事業分	医療分	合計	保 健 事業分	医療分	合計	保 健 事業分	医療分	合計
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	506		506	626		626	785		785
	受 診 者 数(人)	457	18	475	502	87	589	664	79	743
	受 診 率(%)	90.3		93.9	80.2		94.1	84.6		94.6
一次検診結果	異 常 認 め ず(人)	435			491			627		
	要 精 検(人)	22			11			37		
	要精検者の割合(%)	4.81			2.19			5.57		
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	21			8			34		
	受 診 率(%)	95.5			72.7			91.9		
精密検査結果	子宮がん又はがんの 疑いのある者(人)	5	1	6	2	11	13	8	2	10
	子宮がん発見率(%)	1.09	5.56	1.26	0.40	12.64	2.21	1.20	2.53	1.35

「保健事業分」については医療機関検診及び集団検診において検診を受けた者、「医療分」については集団検診で当日体部がん検診を受けられず、後日医療機関で受診した者です。

全体の対象者は平成 8 年度から集計を行っているため、それ以前の受診率は算出できません。



(4) 平成13年度子宮体部がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	体 部 が ん 検 診 対 象 者	一 次 検 診 受 診 者 数 (人)	受 診 率 (%)	一 次 検 診 結 果			要 精 検 率 (%)
				要 精 検 者 数	異 常 認 め ず	判 定 不 能	
30 ~ 34	23	20	87.0	1	19	0	5.00
35 ~ 39	59	56	94.9	2	54	0	3.57
40 ~ 44	119	112	94.1	8	103	1	7.14
45 ~ 49	159	153	96.2	8	144	1	5.23
50 ~ 54	217	166	76.5	16	150	0	9.64
55 ~ 59	86	68	79.1	1	66	1	1.47
60 ~ 64	50	38	76.0	1	34	3	2.63
65 ~ 69	43	33	76.7	0	31	2	0.00
70歳以上	29	18	62.1	0	15	3	0.00
計	785	664	84.6	37	616	11	5.57

2) 精密検査結果(年齢階級別)

年 齢	精 密 検 査 受 診 者 数 (人)	精 密 検 査 結 果				子 宮 が ん 発 見 率 (%)
		異 常 認 め ず	そ の 他 の 疾 病	子 宮 内 膜 増 殖 症	子 宮 体 部 が ん	
30 ~ 34	1	1	0	0	0	0.00
35 ~ 39	1	0	0	1	0	1.79
40 ~ 44	8	3	3	2	0	1.79
45 ~ 49	7	2	3	2	0	1.31
50 ~ 54	15	10	2	1	2	1.81
55 ~ 59	1	1	0	0	0	0.00
60 ~ 64	1	1	0	0	0	0.00
65 ~ 69	0	0	0	0	0	0.00
70歳以上	0	0	0	0	0	0.00
計	34	18	8	6	2	1.20

3) 一次検診会場で子宮体部がん検診を受診できなかった者の結果(年齢階級別)

年 齢	体 部 が ん 検 査 受 診 者 数	検 査 結 果			
		異 常 認 め ず	そ の 他 の 疾 病	子 宮 内 膜 増 殖 症	子 宮 体 部 が ん
30 ~ 34	0	0	0	0	0
35 ~ 39	1	0	1	0	0
40 ~ 44	5	4	1	0	0
45 ~ 49	4	3	0	1	0
50 ~ 54	36	28	7	1	0
55 ~ 59	9	7	2	0	0
60 ~ 64	8	8	0	0	0
65 ~ 69	5	4	1	0	0
70歳以上	11	9	2	0	0
計	79	63	14	2	0

4)平成13年度子宮体部がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果		異常者総計		がん発見率 (%) Q=(N+O)/D						
	A	B	C	D=B+C	E=D/A	F	G	H=F+G	I=H/D	J		K=J/H	L	M	N	O	P
鳥取市	214	185	185	185	86.4	6	6	6	3.2	6	100.0	3	2	1	0	3	0.541
米子市	337	337	337	337	100.0	23	23	23	6.8	22	95.7	10	6	5	1	12	1.780
倉吉市	41	41	41	41	100.0	4	4	4	9.8	2	50.0	2	0	0	0	0	0.000
境港市	14	14	14	14	100.0												
国府町	3			0													
岩美町	2			0													
福部村	11	11	11	11	100.0												
郡家町	3	1	1	1	33.3												
船岡町	5			0													
河原町	5			0													
八東町	3			0													
若桜町	3			0													
用瀬町	5	5	5	5	100.0												
佐治村	4	4	4	4	100.0												
智頭町	2			0													
気高町	17	16	16	16	94.1	2	2	2	12.5	2	100.0	1	0	0	1	1	6.250
鹿野町	1	1	1	1	100.0												
青谷町				0													
羽合町	9	5	5	5	55.6	1	1	1	20.0	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
羽村	3	3	3	3	100.0												
東郷町	1	1	1	1	100.0												
三朝町	5			0													
関金町	2			0													
北条町	7	2	2	2	28.6												
大栄町	10			0													
東伯町				0													
赤碕町	7			0													
西伯町	8	8	8	8	100.0												
倉見町	6			0													
岸本町	5	2	2	2	40.0												
日吉津村	1	1	1	1	100.0												
淀江町	6	6	6	6	100.0												
大山町	9			0													
名和町	11	10	10	10	90.9	1	1	1	10.0	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
中山町	4	1	2	3	75.0												
日南町	8			0													
日野町	3			0													
江府町	10	8	8	8	80.0												
溝口町				0													
合計	785	4	660	664	84.6	37	37	37	5.6	34	91.9	18	8	6	2	16	1.205

(5) 平成13年度子宮がん検診発見子宮がん患者追跡調査結果

表1 子宮がん検診追跡調査結果(頸部)

最終診断	車検診		施設検診	
	平成12年度	平成13年度	平成12年度	平成13年度
異形成	9	11	21	30
頸癌0期	1	1	1	3
頸癌I a期	1	0	1	1
頸癌I b期以上	0	0	6	3
合計	11	12	29	37

表2 子宮がん検診追跡調査結果(体部)

最終診断	平成12年度	平成13年度
増殖症	7	9
体癌I a、I b期	2	2
体癌I c期以上	1	0
合計	10	11

表3 発見子宮がん症例(I b期以上)のがん検診受診歴

受診歴	車検診	施設検診	計
前年受診	0	0	0
2年間隔	0	0	0
3年以上の間隔	0	0	0
初回受診	0	3	3

表4 治療機関

医療機関名	0期	I a期	I b期以上	体癌
鳥大医附属病院	1	1	2	1
鳥取県立中央病院	1	0	0	0
鳥取市立病院	0	0	1	1
鳥取県立厚生病院	0	0	0	0
その他	2	0	0	0

3 . 肺 が ん 検 診

1 . 肺がん検診実績

平成13年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は174,453人で、このうち受診者数は62,631人（車検診：51,441人、施設検診：11,190人）で、受診率は35.9%であった。平成12年度より受診者数は206人減少したが、対象者も1,365人減少したため受診率は0.2ポイント増加した。

要精検者数は216人で、要精検率は0.34%で平成12年度より95人、0.15ポイントも減少した。そのうち、精検受診者は152人、精検受診率は70.4%で、前年度より90人、7.4ポイントも減少した。平成11年度の精検受診率84.0%に比べると、約14ポイントも減少している。特に、東部地区が低かった。

精検結果、肺がん又はがん疑いのある者43人が発見され、がん発見率は0.07%で、前年度より16人、0.02ポイントも減少した。

また、受診者総数のうち経年受診者は48,168人で全体の76.9%を占め、これは、平成8年度より開始した医療機関検診が定着し経年受診者が年々増加していると思われる。この経年受診者からはがんが31人発見されており、発見率は0.064%、非経年受診者からの発見がんは12人、発見率0.083%で、非経年受診者の発見率が高かった。

X線検査受診者62,631人中、喀痰検査の対象者となる高危険群所属者は8,262人で、そのうち喀痰検査を受診した者は4,819人であった。高危険群所属者8,262人のうち、がん・がん疑いの者が7人発見され、がん発見率は0.085%であった。

非高危険群所属者のうち、がん・がん疑いの者が36人発見され、がん発見率は0.066%で、高危険群所属者のがん発見率の方が約1.3倍（平成12年度3.1倍）高かった。

平成13年度実績は平成12年度に比べ、要精検、精検受診、発見がん共に数、率が減少した。

特に精検受診者数が過去最低で、その影響か、発見がんが近年に比べ、10例程度少なかった。また、喀痰検査の要精検者12名のうち、8名の精検状況が未把握のままであり、今後、更に精検未受診者の結果把握に努める必要がある。

2 . 肺がん検診発見肺がん追跡調査結果

30例の原発性肺癌が発見されたが、近年に比べて10例程度少なく、発見率は10万対48であった。前述の精検受診者数の低下が肺がん発見者数の減少に影響したものと思われる。TNM分類Ⅰ期は18例で早期肺癌が60%を占め、検診の目的は果たしている。組織型は腺癌19例、扁平上皮癌5例で最近の傾向として腺癌が多くなってきている。21例(70.0%)に手術が行われ、tnm分類Ⅰ期は11例(49.8%)、絶対的治癒手術は10例(47.6%)であり、今年度の早期肺癌症例は半数にすぎなかった。

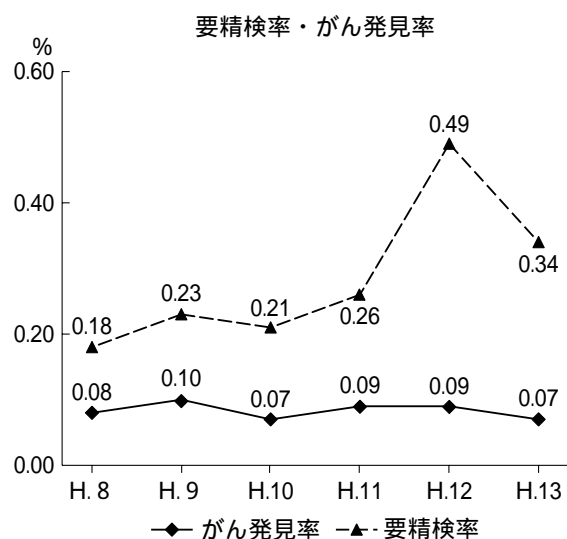
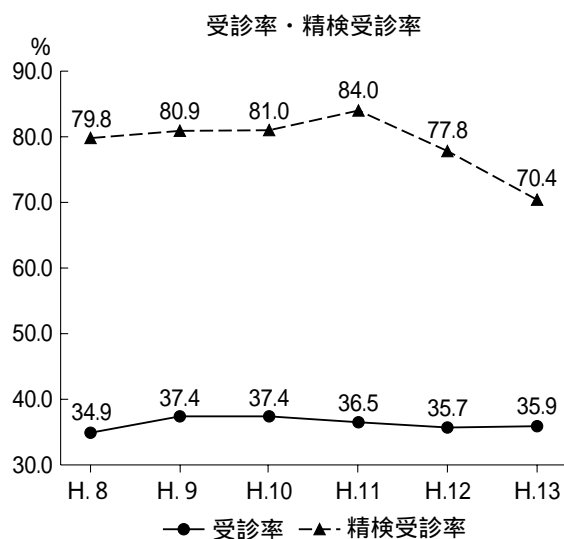
昭和62年から平成13年までの発見肺癌は496例（発見率10万対55）であった。診断方法は胸X410例（82.7%）、細胞診50例（10.1%）、両者34例（6.8%）である。最近の特徴として細胞診検査からの発見がんが少なくなっている。平均年齢70.8歳、男：女=319：177で、最近の女性肺癌の増加が著しい。TNM分類0+Ⅰ期258例（52.0%）で早期肺癌例は約半数である。280例（56.5%）に手術が行われた。

手術有無別の累積生存率、術後病期別（新分類）の累積生存率はP30、P31の図に示す。全症例（496例）の5生率35.9%、10生率21.4%であり、手術例の5生率57.8%、10生率36.4%である。そして手術例のⅠA期（128例）の5生率は82.3%、10生率は58.8%と良好な結果を示している。

(1) 肺がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成 8 年度	平成 9 年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	183,887	179,302	172,667	177,815	175,818	174,453
	受 診 者 数(人)	64,169	67,092	64,540	64,845	62,837	62,631
	受 診 率(%)	34.9	37.4	37.4	36.5	35.7	35.9
一 次 検 診 結 果	異 常 認 め ず(人)	64,055	66,940	64,403	64,676	62,526	62,415
	要 精 検 (人)	114	152	137	169	311	216
	要精検者の割合(%)	0.18	0.23	0.21	0.26	0.49	0.34
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	91	123	111	142	242	152
	受 診 率(%)	79.8	80.9	81.0	84.0	77.8	70.4
精 密 検 査 結 果	肺がん又はがんの疑いのある者(人)	50	70	48	58	59	43
	肺がん発見率(%)	0.08	0.10	0.07	0.09	0.09	0.07
追 跡 調 査 結 果	確 定 が ん 数(人)	4(38)	5(53)	4(40)	4(41)	4(42)	3(30)
	確 定 が ん 率(%)	0.07	0.08	0.07	0.07	0.08	0.06

確定がん数の()の数字は原発性肺癌です。



(2) 平成13年度肺がん検診結果（検診機関別）

1) 一次検診結果（年齢階級別）

a. X線検査結果

年 齢	対象者数 A		胸 部 X 線 検 査								X 線 フ ィ ル ム 読 影 結 果							
			X線検査 受診者数 B		受診率 (%) C = B/A		経年受診 者数再掲 D		経年受診 者数割合 (%) E = D/B		異常認めず F		要精検 者 数 G		要精検率 H = G/B		X線検査受診 者中高危険群 所 属 者 数 I	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	4,262	6,610	751	1,634	17.6	24.7	418	949	55.7	58.1	750	1,632	1	2	0.13	0.12	15	4
45 ~ 49	5,699	8,113	944	2,024	16.6	24.9	628	1,367	66.5	67.5	942	2,024	2	0	0.21	0.00	28	6
50 ~ 54	6,970	10,043	1,512	3,506	21.7	34.9	1,023	2,507	67.7	71.5	1,509	3,502	3	4	0.20	0.11	707	37
55 ~ 59	6,643	10,146	1,197	3,465	18.0	34.2	826	2,623	69.0	75.7	1,192	3,459	5	6	0.42	0.17	583	58
60 ~ 64	9,218	14,047	2,711	5,677	29.4	40.4	1,922	4,326	70.9	76.2	2,696	5,661	15	16	0.55	0.28	1,122	65
65 ~ 69	11,457	15,608	4,300	7,511	37.5	48.1	3,345	5,998	77.8	79.9	4,284	7,488	16	23	0.37	0.31	1,662	61
70 ~ 74	10,232	14,876	4,791	7,392	46.8	49.7	3,847	5,986	80.3	81.0	4,764	7,374	27	18	0.56	0.24	1,850	64
75 ~ 79	7,446	11,674	3,558	5,359	47.8	45.9	3,007	4,392	84.5	82.0	3,538	5,344	20	15	0.56	0.28	1,294	27
80歳以上	6,714	14,695	2,278	4,021	33.9	27.4	1,869	3,135	82.0	78.0	2,268	4,000	10	21	0.44	0.52	659	20
計	68,641	105,812	22,042	40,589	32.1	38.4	16,885	31,283	76.6	77.1	21,943	40,484	99	105	0.45	0.26	7,920	342
合 計	174,453		62,631		35.9		48,168		76.9		62,427		204		0.33		8,262	

b. 喀痰細胞診結果

年 齢	喀痰細胞診受診者数 (人) J		喀 痰 細 胞 診 結 果					
			精検不要 K		要精検者数 L		要精検率 (%) L / J	
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	78	14	78	14	0	0	0.00	0.00
45 ~ 49	131	28	131	28	0	0	0.00	0.00
50 ~ 54	313	60	313	60	0	0	0.00	0.00
55 ~ 59	259	94	259	94	0	0	0.00	0.00
60 ~ 64	556	157	554	157	2	0	0.36	0.00
65 ~ 69	824	189	822	189	2	0	0.24	0.00
70 ~ 74	948	139	942	139	6	0	0.63	0.00
75 ~ 79	680	67	678	67	2	0	0.29	0.00
80歳以上	242	40	242	40	0	0	0.00	0.00
計	4,031	788	4,019	788	12	0	0.30	0.00
合 計	4,819		4,807		12		0.25	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	要精検者数		精密検査受診者数		精密検査受診率 (%)		精 密 検 査 結 果								肺がん発見率 (%)	
							異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	1	2	0	1	0.0	50.0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.000	0.000
45 ~ 49	2	1	1	1	50.0	100.0	1	1	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000
50 ~ 54	3	3	2	2	66.7	66.7	2	1	0	1	0	0	0	0	0.000	0.000
55 ~ 59	5	6	3	3	60.0	50.0	1	1	1	2	0	0	1	0	0.084	0.000
60 ~ 64	17	16	11	10	64.7	62.5	4	4	4	4	0	1	3	1	0.111	0.035
65 ~ 69	18	23	14	15	77.8	65.2	4	6	7	5	0	0	3	4	0.070	0.053
70 ~ 74	33	18	21	18	63.6	100.0	10	6	7	6	2	0	2	6	0.083	0.081
75 ~ 79	22	15	19	11	86.4	73.3	3	5	5	4	0	0	11	2	0.309	0.037
80歳以上	10	21	7	13	70.0	61.9	2	4	1	6	0	1	4	2	0.176	0.075
計	111	105	78	74	70.3	70.5	27	28	25	29	2	2	24	15	0.118	0.042
合 計	216		152		70.4		55		54		4		39		0.069	

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率 (%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	17,758	32,846	69	74	17,689	32,772	0.39	0.23
中国労働衛生協会	295	542	5	4	290	538	1.69	0.74
病 院	1,953	3,532	33	18	1,920	3,514	1.69	0.51
診 療 所	2,036	3,669	4	9	2,032	3,660	0.20	0.25
計	22,042	40,589	111	105	21,931	40,484	0.50	0.26
合 計	62,631		216		62,415		0.34	

b. 精密検査結果

一次検診機関	要精検者数 (人)		精密検査受診者数		精密検査受診率 (%)		精 密 検 査 結 果								肺がん発見率 (%)	
							異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	69	74	52	55	75.4	74.3	16	21	16	20	1	2	19	12	0.113	0.043
中国労働衛生協会	5	4	5	4	100.0	100.0	0	0	1	3	0	0	4	1	1.356	0.185
病 院	33	18	18	10	54.5	55.6	11	6	7	3	0	0	0	1	0.000	0.028
診 療 所	4	9	3	5	75.0	55.6	0	1	1	3	1	0	1	1	0.098	0.027
計	111	105	78	74	70.3	70.5	27	28	25	29	2	2	24	15	0.118	0.042
合 計	216		152		70.4		55		54		4		39		0.069	

4)平成13年度肺がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者				検査結果別人員							
	A	車検診 施設検診 C	D = B + C	受診率 (%) E = D / A	F	G	H = F + G	I = H / D	J	K = J / H	L	M	N	O	P	がん発見率 (%) Q = (N + O) / D
鳥取市	38,000	421	8,858	23.3	2	28	30	0.34	17	56.7	4	10	1	2	13	0.034
米子市	39,095	4,390	4,390	11.2	16		16	0.36	13	81.3	2	9	0	2	11	0.046
倉吉市	11,668	1,834	2,412	20.7	3	1	4	0.17	4	100.0	0	1	0	3	4	0.124
境港市	11,631	817	817	7.0	4		4	0.49	1	25.0	0	0	0	1	1	0.122
国府町	1,826	1,218	1,218	66.7	3		3	0.25	3	100.0	0	1	0	2	3	0.164
岩美町	3,136	968	968	30.9	1		1	0.10	0	0.0					0	0.000
福部村	959	446	446	46.5	2		2	0.45	1	50.0	1	0	0	0	0	0.000
郡家町	2,165	1,546	1,648	76.1	4	0	4	0.24	4	100.0	3	0	0	1	1	0.061
船岡町	1,502	1,037	1,037	69.0	5		5	0.48	3	60.0	1	2	0	0	2	0.000
河原町	2,168	1,041	1,233	56.9	2	1	3	0.24	0	0.0					0	0.000
八東町	1,872	1,239	1,239	66.2	1		1	0.08	1	100.0	0	0	0	1	1	0.081
若桜町	1,159	731	731	63.1	2		2	0.27	1	50.0	0	0	0	1	1	0.137
用瀬町	2,480	786	802	32.3	3	0	3	0.37	2	66.7	0	1	0	1	2	0.125
佐治村	1,208	486	697	57.7	1	0	1	0.14	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
智頭町	3,210	1,447	1,642	51.1	4	7	11	0.67	8	72.7	5	3	0	0	3	0.000
気高町	2,102	1,005	1,568	74.6		6	6	0.38	4	66.7	1	3	0	0	3	0.000
鹿野町	1,614	887	1,069	66.2	4	0	4	0.37	2	50.0	0	2	0	0	2	0.000
青谷町	3,110	1,473	1,617	52.0	3	19	22	1.36	11	50.0	9	1	0	1	2	0.062
羽台町	1,499	1,281	42	88.3	3	0	3	0.23	3	100.0	0	1	0	2	3	0.151
泊村	681	396	624	91.6	0	0	0	0.00	0	0.0					0	0.000
東郷町	2,671	1,706	1,756	65.7	4	0	4	0.23	4	100.0	0	1	0	3	4	0.171
三朝町	2,170	1,807	1,807	83.3			0	0.00	0	0.0					0	0.000
関金町	1,960	1,031	1,031	52.6	4		4	0.39	3	75.0	0	1	0	2	3	0.194
北条町	1,990	1,272	1,440	72.4	5	1	6	0.42	2	33.3	1	0	0	1	1	0.069
大栄町	2,663	2,330	2,330	87.5	3		3	0.13	3	100.0	0	1	0	2	3	0.086
東伯町	5,373	3,511	3,511	65.3	6		6	0.17	6	100.0	1	2	0	3	5	0.085
赤碕町	3,088	2,126	2,158	69.9	6	0	6	0.28	5	83.3	1	3	0	1	4	0.046
西伯町	2,346	1,159	1,159	49.4	2		2	0.17	2	100.0	1	0	0	1	1	0.086
糸見町	1,145	742	742	64.8	4		4	0.54	4	100.0	3	1	0	0	1	0.000
岸本町	3,100	1,203	1,203	38.8	12		12	1.00	11	91.7	7	2	2	0	4	0.166
日吉津村	599	432	432	72.1			0	0.00	0	0.0					0	0.000
淀江町	2,990	2,135	2,135	71.4	10		10	0.47	7	70.0	1	3	1	2	6	0.141
大山町	2,553	1,843	1,893	74.1	1	1	2	0.11	2	100.0	1	0	0	1	1	0.053
名和町	1,887	1,304	1,304	69.1	9		9	0.69	6	66.7	4	1	0	1	2	0.077
中山町	2,109	1,489	1,489	70.6	4		4	0.27	1	25.0	1	0	0	0	0	0.000
日南町	2,827	1,495	1,495	52.9	4		4	0.27	3	75.0	2	1	0	0	1	0.000
日野町	1,409	699	699	49.6	4		4	0.57	3	75.0	3	0	0	0	0	0.000
江府町	1,258	838	838	66.6	9		9	1.07	9	100.0	0	4	0	5	9	0.597
溝口町	1,230	870	870	70.7	2		2	0.23	2	100.0	2	0	0	0	0	0.000
合計	174,453	51,441	62,631	35.9	152	64	216	0.34	152	70.4	55	54	4	39	97	0.069

(3) 平成13年度肺がん検診発見がん患者の予後調査の確定について

肺がん確定診断（原発性496、転移性74）	570例
他部位癌（鼻腔1、咽頭2、喉頭3、その他4）	10例
他の良性疾患	22例
総計	602例

1) 肺がん確定診断

(単位：例)

	62年	63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年
原発性肺癌	6	22	18	32	36	37	41	22
転移性肺癌	0	4	4	4	7	9	3	5
合計	6	26	22	36	43	46	44	27

	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	合計
原発性肺癌	38	38	53	40	41	42	30	496
転移性肺癌	5	4	2	7	7	6	7	74
合計	43	42	55	47	48	48	37	570

2) 原発性肺がん診断方法

				〔H13年度集計〕			
胸 X 間接	Dのみ	184例	} 410例(82.7%)	Dのみ	15例	} 29例(96.7%)	
	Eのみ	226例		Eのみ	14例		
細胞診	Dのみ	18例	} 50例(10.1%)	Dのみ	0例	} 0例(0.0%)	
	Eのみ	32例		Eのみ	0例		
胸 X 線間接と細胞診	D + D	9例	} 34例(6.8%)	D + D	1例	} 1例(3.3%)	
	D + E	8例		D + E	0例		
	E + D	4例		E + D	0例		
	E + E	13例		E + E	0例		
	不明	2例	} 2例(0.4%)	不明	0例	} 0例(0.0%)	
計			496例(100%)	計 30例			

3) 精密検診受診・原発性肺癌発見の状況

年	受診者 (人)	要精検者 (人)	精検受診者 (人)	肺癌発見者 (人)	発見者 (対人口10万)
S 62	16,420	745 (4.54%)	652 (87.5%)	6	37
S 63	38,445	65 (0.17%)	60 (92.3%)	22	57
H 1	52,473	117 (0.22%)	107 (91.5%)	18	34
H 2	68,374	153 (0.22%)	132 (86.3%)	32	49
H 3	70,189	95 (0.14%)	89 (93.7%)	36	51
H 4	69,909	133 (0.19%)	111 (83.5%)	37	53
H 5	69,027	133 (0.19%)	98 (72.9%)	41	59
H 6	66,316	103 (0.16%)	89 (86.4%)	22	33
H 7	65,226	162 (0.25%)	135 (83.3%)	38	58
H 8	64,169	114 (0.18%)	91 (79.8%)	38	59
H 9	67,092	152 (0.23%)	123 (80.9%)	53	79
H 10	64,540	137 (0.21%)	111 (81.0%)	40	62
H 11	64,845	169 (0.26%)	142 (84.0%)	41	64
H 12	62,837	311 (0.49%)	242 (77.8%)	42	67
H 13	62,631	216 (0.34%)	152 (70.4%)	30	48
計	902,493	2,805 (0.31%)	2,334 (83.2%)	496	55

4) 原発性肺癌 (496例)

a. 年齢・性別

区 分	原発性肺癌	比率(%)
50～59歳	38例	7.7
60～69歳	181	36.5
70～79歳	209	42.1
80～	68	13.7
計	496	100.0

平均年齢 = 70.8

男 : 女 = 319例 : 177例

[H13年度集計]

区 分	原発性肺癌	比率(%)
50～59歳	0例	0
60～69歳	10	33.3
70～79歳	17	56.7
80～	3	10.0
計	30	100.0

平均年齢 = 71.9

男 : 女 = 18例 : 12例

b. 原発性肺癌の臨床病期と組織型

組織型 \ 病期	Occult	I	II	III A	III B	IV	不明	計 (%)
扁平上皮癌	2	87	12	40	9	14	7	171(34.5)
腺癌	0	145	16	31	13	38	2	245(49.4)
大細胞癌	0	3	0	2	2	0	0	7(1.4)
小細胞癌	0	7	6	8	3	5	2	31(6.3)
腺扁平上皮癌	0	2	0	2	0	0	0	4(0.8)
腺様嚢胞癌	0	0	0	1	0	0	0	1(0.2)
不明	0	12	2	2	3	5	13	37(7.4)
計	2 (0.4)	256 (51.6)	36 (7.3)	86 (17.3)	30 (6.1)	62 (12.5)	24 (4.8)	496(100)

[H13年度集計]

臨床病期	(%)
Occult	0例
I	18(60.0)
II	1
III A	2
III B	3
IV	4
不明	2
計	30

組織型	(%)
扁平上皮癌	5例
腺癌	19(63.3)
大細胞癌	2
小細胞癌	2
腺扁平上皮癌	0
腺様嚢胞癌	0
不明	2
計	30

c. 原発性肺癌の手術症例 (280例、手術率 : 56.5%)

(a) 臨床病期、術後病期

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	2例	Occult	2例
I	198(70.7)	I	184(65.7)
II	19	II	19
III A	49	III A	51
III B	9	III B	14
IV	3	IV	10
計	280	計	280

[H13年度集計]

原発性肺癌の手術症例

(21例、手術率 : 70.0%)

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	0例	Occult	0例
I	15(71.4)	I	11(49.8)
II	1	II	2
III A	2	III A	4
III B	3	III B	4
IV	0	IV	0
計	21	計	21

(b) 組織型分類

組織型	(%)
扁平上皮癌	90例
腺癌	171(61.1)
大細胞癌	7
小細胞癌	5
腺扁平上皮癌	5
腺様嚢胞癌	1
不明	1
計	280

(c) 根治度

根治度分類	(%)
絶対的治癒手術	160例(57.1)
相対的治癒手術	58
相対的非治癒手術	34
絶対的非治癒手術	24
不明	4
計	280

} 218(77.9%)

〔H13年度集計〕

組織型	
扁平上皮癌	4例
腺癌	15
大細胞癌	2
小細胞癌	0
腺扁平上皮癌	0
計	21

根治度分類	(%)
絶対的治癒手術	10例(47.6)
相対的治癒手術	5
相対的非治癒手術	5
絶対的非治癒手術	1
計	21

} 15(71.4%)

d. 新病期分類の手術症例

(a) 病期分類

(全症例：496例、H13年度：30例)

臨床病期	全症例(%)	H13年度
Occult	2例	0例
I A	168(33.9)	12(40.0)
I B	80	6
II A	16	1
II B	38	1
III A	75	1
III B	31	3
IV	63	4
不明	23	2
計	496	30

(b) 術後病理病期

(全手術症例：270例、H13年度：21例)

臨床病期	全症例(%)	H13年度(%)
Occult	2例	0例
I A	128(47.4)	8(38.1)
I B	55	3
II A	9	1
II B	19	1
III A	43	4
III B	14	4
IV	10	0
計	270	21

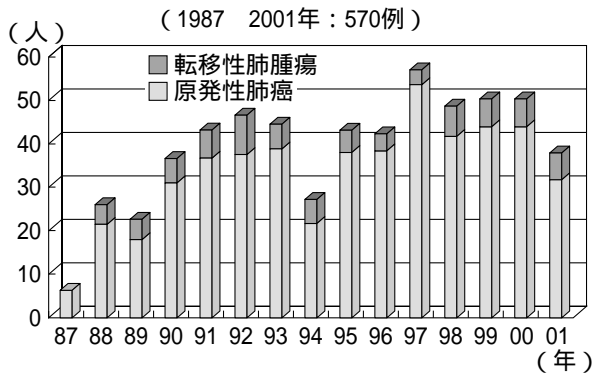
e . 腫瘍径

腫瘍径 (mm)	H10年度 (%)	H11年度 (%)	H12年度 (%)	H13年度 (%)
0~10	1例	2例	1例	0例
11~20	9(22.5)	10	15(35.7)	11(36.7)
21~30	6	15(36.6)	7	6
31~40	6	9	8	9
41~50	7	1	3	1
51~	7	2	6	3
不明	4	2	2	0
計	40	41	42	30
平均	37.1mm	27.9mm	32.2mm	33.5mm

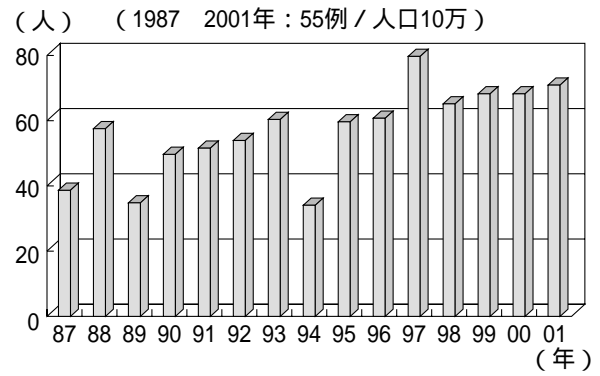
5) 転移性肺癌 (74例)

大腸がん：21例 腎臓癌：9例 乳がん：7例 甲状腺癌：6例 胆のう癌：3例
 肝臓がん：3例 前立腺癌：3例 卵巣癌：2例 胃癌：2例 肺癌：2例
 子宮癌：2例 尿管癌：1例 食道癌：1例 咽頭癌：1例 肛門癌：1例
 顎下腺：1例 子宮肉腫：1例 胸腺癌：1例 膵臓癌：1例 膀胱癌：1例
 胆管癌：1例 不明：3例

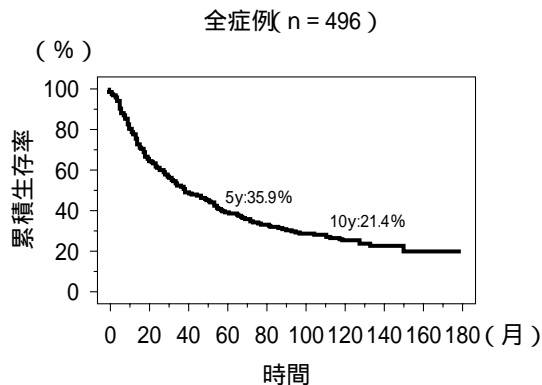
6) 検診発見肺癌の推移



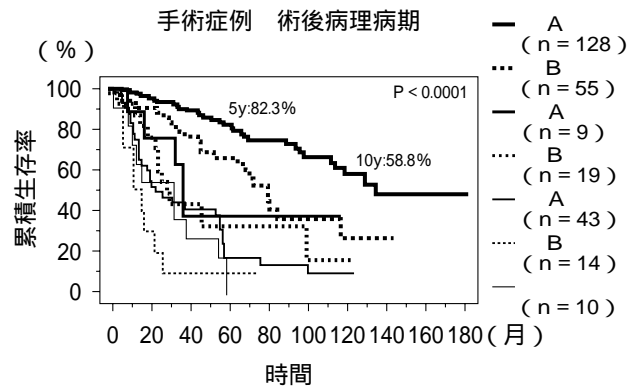
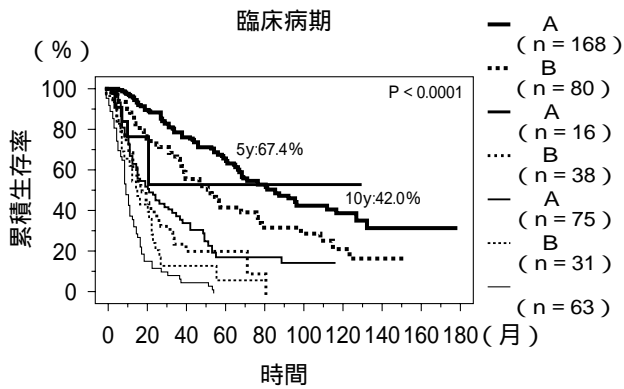
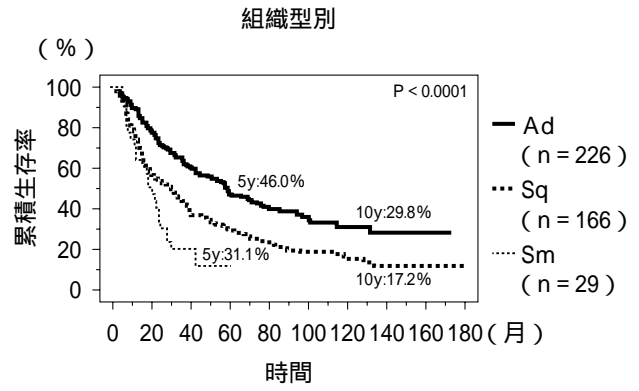
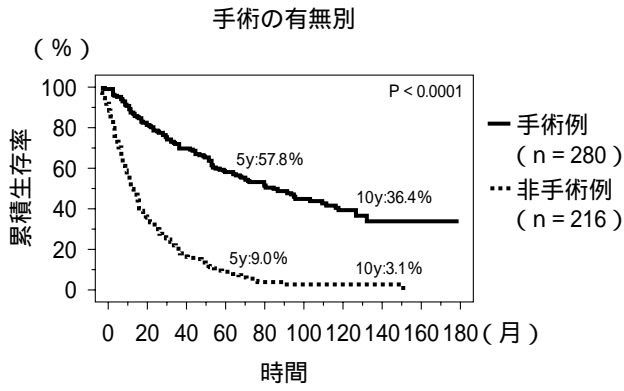
7) 原発性肺癌の発見率 (対人口10万)



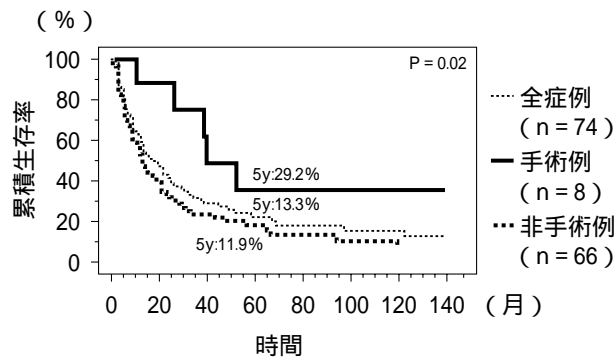
8) 検診発見肺癌の予後



9) 検診発見肺癌の予後



10) 検診発見転移性肺腫瘍の予後



4 . 乳 が ん 検 診

1 . 乳がん検診実績

平成13年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は123,896人で、このうち受診者数は29,840人（出張検診：14,075人、施設検診：15,765人）で受診率は24.1%であった。

過去10年間をみると、対象者受診者ともに30歳代、40歳代が激減しているため、受診勧奨が必要である。

要精検者数は837人（出張検診：112人、施設検診：725人）、要精検率は2.80%で、精検受診者数692人、精検受診率は82.7%であった。平成11年度より、一部の市町村でマンモグラフィ併用検診を行っているところがあり、その影響か要精検率が僅かずつ増加傾向にある。しかし、精検受診率は平成7年度以降減少傾向である。

精検の結果、乳がん又は乳がん疑いが38人発見され、発見率0.13%であった。

年代別にみると、受診率は50～54歳、要精検率は45～49歳、がん発見率は40～44歳がそれぞれ高かった。

平成13年度は7町でマンモグラフィ併用検診が行われ、受診者数1,044人、要精検者数70人、要精検率6.70%、がん及びがん疑いは4人発見された。検診体制が完備していないと全県的導入は難しい。そのためマンモグラフィ併用検診の実施状況等データの積み重ね、分析を行いながら、マンモグラフィ装置、読影医、撮影技師の技術向上等体制整備を行うことと合わせて、鳥取県健康対策協議会より県にマンモグラフィ検診車導入について働きかけていくことになった。

2 . 乳がん検診発見乳がん追跡調査結果

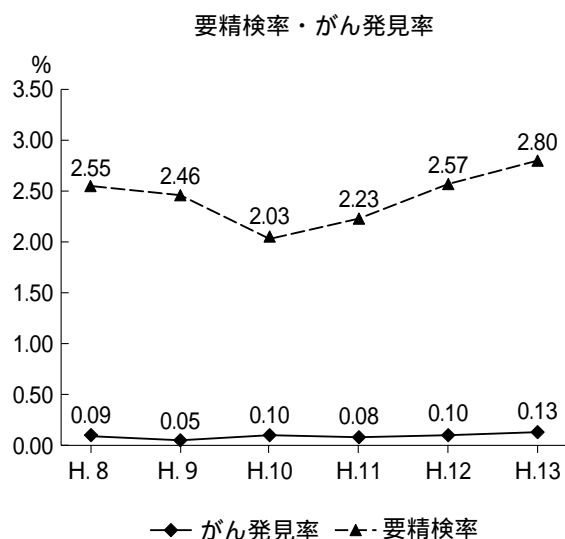
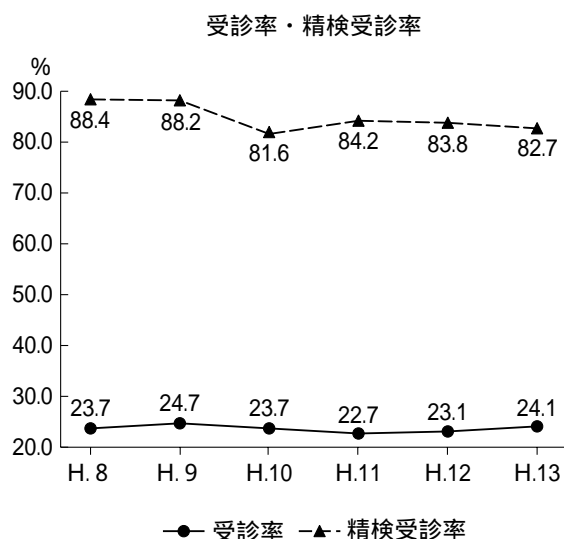
平成13年度に発見された乳がん及び乳がん疑い139例（出張・施設検診38例、職域検診1例）について追跡調査を行った。確定乳癌は33例で、両側同時乳癌が1例あった。平均年齢は59.5歳であった。病期分類はⅡ以上が60.1%あり、進行例が多かった。腫瘍径が大きい割には乳房温存率は63.6%と増加していた。

初回検診で進行例が多く、繰り返し検診1年で2cm以内の症例が多かった。

50歳以下では乳癌との鑑別が困難な例が認められた。

(1) 乳がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
一次検診	対象者数(人)	135,195	130,112	127,118	128,948	127,810	123,896
	受診者数(人)	32,073	32,131	30,086	29,231	29,532	29,840
	受診率(%)	23.7	24.7	23.7	22.7	23.1	24.1
一次検診結果	異常認めず(人)	31,255	31,340	29,476	28,578	28,774	29,003
	要精検者数(人)	818	791	610	653	758	837
	要精検者の割合(%)	2.55	2.46	2.03	2.23	2.57	2.80
精密検査	受診者数(人)	723	698	498	550	635	692
	受診率(%)	88.4	88.2	81.6	84.2	83.8	82.7
精密検査結果	乳がん又はがんの疑いのある者(人)	30	16	29	24	29	38
	乳がん発見率(%)	0.09	0.05	0.10	0.08	0.10	0.13
追跡調査結果	確定がん数(人)	28	15	28	24	29	32
	確定がん率(%)	0.09	0.05	0.09	0.08	0.10	0.11



(2) 平成13年度乳がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	対象者数(人)	一次検診受診者数(人)	受診率(%)	一次検診結果		要精検率(%)
				要精検者数	異常認めず	
30～34	7,361	1,230	16.7	58	1,172	4.72
35～39	7,561	1,623	21.5	68	1,555	4.19
40～44	8,028	2,345	29.2	112	2,233	4.78
45～49	9,547	2,525	26.4	127	2,398	5.03
50～54	11,423	3,707	32.5	121	3,586	3.26
55～59	11,213	3,096	27.6	81	3,015	2.62
60～64	14,409	4,310	29.9	97	4,213	2.25
65～69	15,273	4,807	31.5	77	4,730	1.60
70歳以上	39,081	6,197	15.9	96	6,101	1.55
計	123,896	29,840	24.1	837	29,003	2.80

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精 密 検 査 受診者数(人)	精 密 検 査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				乳 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
30 ~ 34	53	91.4	23	29	0	1	0.081
35 ~ 39	62	91.2	20	40	0	2	0.123
40 ~ 44	88	78.6	23	60	2	3	0.213
45 ~ 49	105	82.7	30	71	0	4	0.158
50 ~ 54	100	82.6	34	61	0	5	0.135
55 ~ 59	66	81.5	23	38	0	5	0.161
60 ~ 64	86	88.7	44	40	0	2	0.046
65 ~ 69	61	79.2	35	23	0	3	0.062
70 歳 以上	71	74.0	34	26	0	11	0.178
計	692	82.7	266	388	2	36	0.127

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診 機 関	一 次 検 診 受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		要 精 検 者 数	異 常 認 め ず	
医 師 雇 上	3,062	70	2,992	2.29
保 健 事 業 団	11,013	42	10,971	0.38
病 院	7,238	427	6,811	5.90
診 療 所	8,527	298	8,229	3.49
計	29,840	837	29,003	2.80

b. 精密検査結果

一次検診 機 関	精 密 検 査 受診者数(人)	精 密 検 査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				乳 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
医 師 雇 上	59	84.3	24	34	0	1	0.033
保 健 事 業 団	34	81.0	6	23	0	5	0.045
病 院	338	79.2	121	206	1	10	0.152
診 療 所	261	87.6	115	125	1	20	0.246
計	692	82.7	266	388	2	36	0.127

4)平成13年度乳がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査者		検査結果別人員								
	A	B	C	D=B+C	E=D/A (%)	F	G	H=F+G	I=H/D (%)	J	K=(%)	L	M	N	O	P	Q=(N+O)/D (%)
鳥取市	29,800	602	3,862	4,464	15.0	32	217	249	5.58	182	73.1	94	76	1	11	88	0.269
米子市	28,930	5	5,440	5,445	18.8	0	182	182	3.34	176	96.7	38	127	0	11	138	0.202
倉吉市	7,384	344	908	1,252	17.0	3	46	49	3.91	42	85.7	19	21	0	2	23	0.160
境港市	8,386		1,119	1,119	13.3	3	23	23	2.06	23	100.0	4	16	0	3	19	0.268
国府町	774	503	51	554	71.6	1	4	5	0.90	5	100.0	1	3	0	1	4	0.181
岩美町	2,684	790		790	29.4	1		1	0.13	0	0.0					0	0.000
福部村	710	86	125	211	29.7	0	1	1	0.47	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
都家町	1,088	712	48	760	69.9	0	1	1	0.13	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
船岡町	1,121	420		420	37.5	3		3	0.71	3	100.0	0	3	0	0	3	0.000
河原町	2,033	368	150	518	25.5	1	11	12	2.32	7	58.3	6	1	0	0	1	0.000
八東町	1,250	433		433	34.6	1		1	0.23	0	0.0					0	0.000
若桜町	810	440		440	54.3	7		7	1.59	5	71.4	4	0	0	1	1	0.227
用瀬町	927	110	96	206	22.2	0	9	9	4.37	8	88.9	7	1	0	0	1	0.000
佐治村	803	332	1	333	41.5	1	0	1	0.30	1	100.0	0	1	0	0	1	0.000
智頭町	1,804	4	688	692	38.4	0	11	11	1.59	10	90.9	3	6	0	1	7	0.145
気高町	1,501	88	528	616	41.0	0	24	24	3.90	20	83.3	15	4	0	1	5	0.162
鹿野町	1,022	164	175	339	33.2	0	9	9	2.65	5	55.6	3	2	0	0	2	0.000
青谷町	2,362	300	65	365	15.5	0	1	1	0.27	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
羽台町	997	183	319	502	50.4	0	24	24	4.78	21	87.5	13	8	0	0	8	0.000
泊村	499	170	61	231	46.3	0	4	4	1.73	4	100.0	3	1	0	0	1	0.000
東郷町	1,358	186	149	335	24.7	1	7	8	2.39	3	37.5	2	1	0	0	1	0.000
三朝町	1,335	442	7	449	33.6	1	3	4	0.89	3	75.0	1	2	0	0	2	0.000
関金町	1,367	428		428	31.3	3		3	0.70	3	100.0	0	3	0	0	3	0.000
北条町	1,643	421	93	514	31.3	4	12	16	3.11	12	75.0	10	2	0	0	2	0.000
大栄町	1,707	1,107		1,107	64.9	3		3	0.27	3	100.0	1	1	0	1	2	0.090
東伯町	2,926	958		958	32.7	4		4	0.42	4	100.0	1	3	0	0	3	0.000
赤碕町	2,088	709	29	738	35.3	2	0	2	0.27	2	100.0	0	2	0	0	2	0.000
西伯町	1,259	396	396	396	31.5	30	30	30	7.58	10	33.3	3	5	1	1	7	0.505
糸見町	1,042	272	27	299	28.7	0	1	1	0.33	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
岸本町	2,330	550	131	681	29.2	7	10	17	2.50	14	82.4	1	13	0	0	13	0.000
日吉津村	476	244		244	51.3	9		9	3.69	9	100.0	0	9	0	0	9	0.000
淀江町	2,651	254	400	654	24.7	19	32	51	7.80	48	94.1	15	33	0	0	33	0.000
大山町	1,528	435	23	458	30.0	3	1	4	0.87	4	100.0	0	4	0	0	4	0.000
名和町	1,148	165	251	416	36.2	0	12	12	2.88	12	100.0	3	9	0	0	9	0.000
中山町	859	324	38	362	42.1	2	1	3	0.83	3	100.0	0	2	0	1	3	0.276
日南町	2,017	631		631	31.3	2		2	0.32	2	100.0	0	1	0	1	2	0.158
日野町	1,055	471	52	523	49.6	0	2	2	0.38	2	100.0	1	1	0	0	1	0.000
江府町	1,396	5	395	400	28.7	0	22	22	5.50	19	86.4	8	10	0	1	11	0.250
溝口町	826	419	138	557	67.4	2	25	27	4.85	24	88.9	7	17	0	0	17	0.000
合計	123,896	14,075	15,765	29,840	24.1	112	725	837	2.80	692	82.7	266	388	2	36	426	0.127

(3) 平成13年度乳がん検診発見乳がん患者追跡調査結果

1) 登録届出数 33

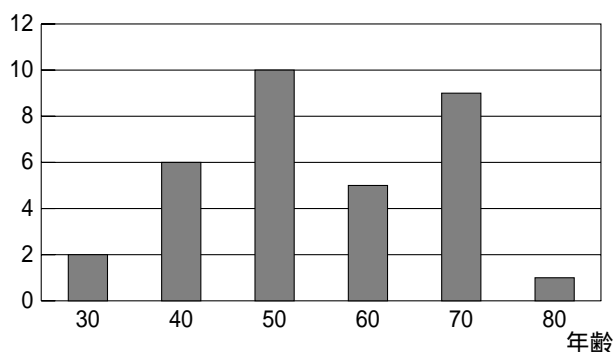
確定乳癌 33

鳥取市 8 米子市 11 倉吉市 1 境港市 3

大栄町 2 国府町、若桜町、智頭町、気高町、西伯町、日南町、江府町、中山町 1

2) 年齢構成

平均年齢 59.5歳 (34 - 86)



3) 病期分類

TNM	例数
TIS	1
I	12
II a	10
II b	6
III a	3
IV	1

腫瘍径	例数	
TIS	1	触診では2cm
T1	12	
T2	16	
T3	4	

4) 手術術式 (1例は追跡不能)

胸筋温存乳房切除術	10	
単純乳房切除術	1	86歳
乳房温存術	21	含TIS
なし	1	stageIV

温存率 63.6% (平成13年度 42.9%)

5) 検診歴

検診歴	例数	TNM			
		I	II	III	IV
初回検診	13	1	10	1	1
繰り返し検診 1年	15	9	4	1	
2年以上	4	1	2	1	

6) 癌でなかった症例

年 齢	細 胞 診	診 断
45	悪性	乳管内乳頭腫
44	悪性	線維腺腫
75	悪性	慢性乳腺炎
37		線維腺腫
41		乳腺症
40		良性

7) まとめ

1. 平成13年度検診発見乳癌は33例であった。両側同時乳癌が1例あった。
2. 平均年齢は59.5歳で、30歳代が2例あった。
3. 病期ではⅡ以上が60.1%あり、昨年37.9%に比べ進行例が多かった。
4. 腫瘍径が大きい割には温存手術例が63.6%と増加していた。
5. 初回検診で進行例が多く、繰り返し検診1年で2cm以内の症例が多かった。
6. 50歳以下では乳癌との鑑別が困難な例が認められた。

5. 大腸がん検診

1. 大腸がん検診実績

平成13年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は175,103人で、このうち受診者数は51,295人（地域検診：25,924人、施設検診：25,371人）で、受診率は29.3%で受診者数率とも微増している。

要精検者数は4,154人（地域検診：1,805人、施設検診：2,349人）要精検率は8.1%で、前年度より1.1ポイント減少している。要精検率が10%以上の町村が例年は5～6町村あったが、今年度は1市のみとなった。地域検診と診療所の要精検率の差も2.8%と昨年度に比べ少なくなっている。

このうち、精密検査を受診したのは、2,593人、精検受診率は62.4%で前年度より0.2ポイント減少している。

精検結果は、大腸がん117人、大腸がん疑い7人の合計124人が発見され、がん発見率は0.24%で前年度より0.02ポイント減少した。

受診者数、率ともに年々増加傾向にあるが、要精検率、精検受診率、がん発見率とも、減少傾向である。

2. 大腸がん検診発見大腸がん追跡調査結果

平成13年度に発見された大腸がん及び大腸がん疑い124例（地域検診：49例、施設検診：75例）について追跡調査を行った結果、118例が確定癌で、そのうちの早期がんは79例で、早期癌率は66.9%であった。

部位別にみると「直腸」「S状結腸」で59.3%を占め、早期癌では「I p」「I sp」「I s」が、進行癌では「2」が大半を占めていた。平成12年度全国平均と同様な結果であった。

大きさは、10mm以下が36.4%であった。EMRを施行し、大きさが記入していない症例については、従来は不明で集計していたが、今回は10mm以下に計上したため、全国平均25.9%に比べ高くなっている。

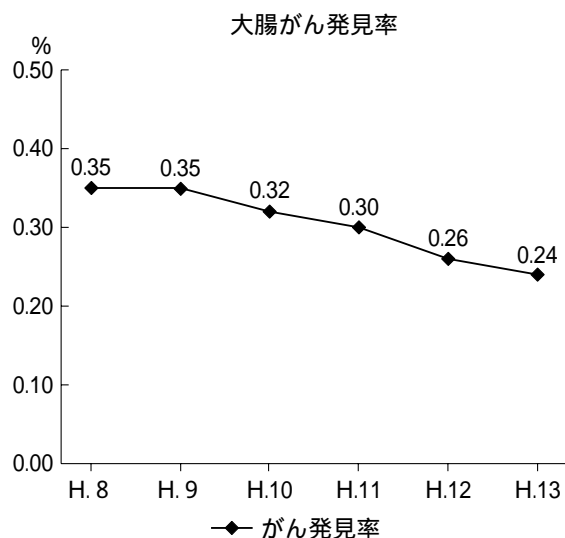
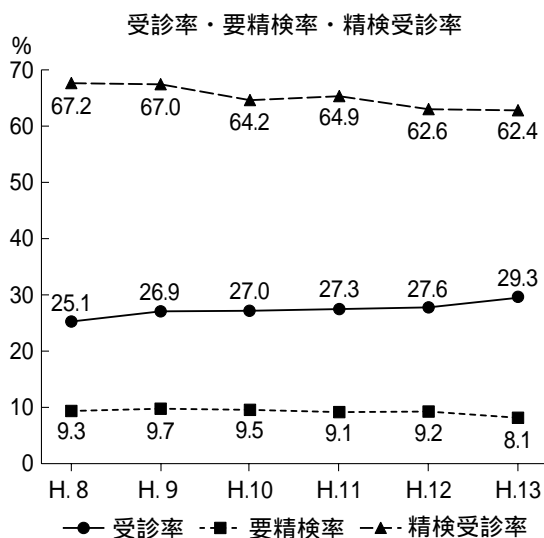
早期がん率66.9%、Dukes分類は「A」が74.6%、組織型分類は「Well」が77.1%で、いずれも全国平均より少し高かった。

治療方法では、外科手術46.6%、内視鏡的治療53.4%であった。全国平均は外科手術が少し多く実施されている。

また、逐年検診発見進行大腸癌は17例（東部4例、中部3例、西部10例）で平成12年度の7例に比べ非常に多かった。

(1) 大腸がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成 8 年度	平成 9 年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	193,294	185,761	182,629	181,677	179,933	175,103
	受 診 者 数(人)	48,538	49,957	49,302	49,544	49,671	51,295
	受 診 率(%)	25.1	26.9	27.0	27.3	27.6	29.3
一次検診結果	異 常 認 め ず(人)	44,003	45,127	44,612	45,046	45,108	47,141
	要 精 検 査(人)	4,535	4,830	4,690	4,498	4,563	4,154
	要精検者の割合(%)	9.3	9.7	9.5	9.1	9.2	8.1
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	3,049	3,234	3,013	2,920	2,858	2,593
	受 診 率(%)	67.2	67.0	64.2	64.9	62.6	62.4
精密検査結果	大腸がん又はがんの疑いのある者(人)	169	173	159	147	127	124
	大腸がん発見率(%)	0.35	0.35	0.32	0.30	0.26	0.24
追跡調査結果	確 定 が ん 数(人)	150	159	147	138	117	118
	確 定 が ん 率(%)	0.31	0.32	0.30	0.28	0.24	0.23



(2) 平成13年度大腸がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年 齢	対象者数(人)		一 次 検 診 受診者数(人)		受 診 率(%)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
	男	女	男	女	男	女	要精検者数		異常認めず		男	女
							男	女	男	女		
40 ~ 44	4,974	7,006	820	1,425	16.5	20.3	60	77	760	1,348	7.3	5.4
45 ~ 49	6,513	8,687	986	1,731	15.1	19.9	71	87	915	1,644	7.2	5.0
50 ~ 54	7,810	10,534	1,526	3,129	19.5	29.7	141	156	1,385	2,973	9.2	5.0
55 ~ 59	7,134	10,304	1,235	3,174	17.3	30.8	139	181	1,096	2,993	11.3	5.7
60 ~ 64	9,334	13,826	2,454	5,062	26.3	36.6	248	282	2,206	4,780	10.1	5.6
65 ~ 69	11,316	15,149	3,700	6,347	32.7	41.9	383	420	3,317	5,927	10.4	6.6
70 ~ 74	9,928	14,034	3,979	5,936	40.1	42.3	471	418	3,508	5,518	11.8	7.0
75 ~ 79	7,109	11,049	2,596	3,734	36.5	33.8	284	304	2,312	3,430	10.9	8.1
80歳以上	6,433	13,963	1,419	2,042	22.1	14.6	191	241	1,228	1,801	13.5	11.8
計	70,551	104,552	18,715	32,580	26.5	31.2	1,988	2,166	16,727	30,414	10.6	6.6
合 計	175,103		51,295		29.3		4,154		47,141		8.1	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精 密 検 査 受診者数(人)		精 密 検 査 受診率(%)		精 密 検 査 結 果								大 腸 が ん 発見率(%)	
	男	女	男	女	異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん		男	女
					男	女	男	女	男	女	男	女		
40 ~ 44	26	43	43.3	55.8	9	27	17	15	0	0	0	1	0.000	0.070
45 ~ 49	37	54	52.1	62.1	15	36	21	16	0	1	1	1	0.101	0.116
50 ~ 54	74	101	52.5	64.7	33	54	40	43	0	0	1	4	0.066	0.128
55 ~ 59	80	125	57.6	69.1	36	63	39	61	0	0	5	1	0.405	0.032
60 ~ 64	160	188	64.5	66.7	56	112	98	66	0	0	6	10	0.244	0.198
65 ~ 69	256	276	66.8	65.7	82	140	152	121	2	0	20	15	0.595	0.236
70 ~ 74	309	268	65.6	64.1	93	135	190	128	3	0	23	5	0.653	0.084
75 ~ 79	182	204	64.1	67.1	61	103	109	97	1	0	11	4	0.462	0.107
80歳以上	106	104	55.5	43.2	33	58	67	43	0	0	6	3	0.423	0.147
計	1,230	1,363	61.9	62.9	418	728	733	590	6	1	73	44	0.422	0.138
合 計	2,593		62.4		1,146		1,323		7		117		0.242	

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診 機 関	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
	男	女	要 精 検 者 数		異 常 認 め ず		男	女
			男	女	男	女		
保健事業団	8,932	14,868	838	805	8,094	14,063	9.4	5.4
ファルコ	304	467	30	23	274	444	9.9	4.9
中国労働衛 生協 会	741	612	78	31	663	581	10.5	5.1
病 院	2,609	4,555	269	300	2,340	4,255	10.3	6.6
診 療 所	6,129	12,078	773	1,007	5,356	11,071	12.6	8.3
計	18,715	32,580	1,988	2,166	16,727	30,414	10.6	6.6
合 計	51,295		4,154		47,141		8.1	

b. 精密検査結果

一次検診 機 関	精 密 検 査 受診者数(人)		精 密 検 査 受診率(%)		精 密 検 査 結 果								大 腸 が ん 発見率(%)	
	男	女	男	女	異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん		男	女
					男	女	男	女	男	女	男	女		
保健事業団	563	557	67.2	69.2	203	308	329	235	2	1	29	13	0.347	0.094
ファルコ	26	18	86.7	78.3	14	11	11	6	0	0	1	1	0.329	0.214
中国労働衛 生協 会	40	21	51.3	67.7	11	8	28	12	0	0	1	1	0.135	0.163
病 院	144	173	53.5	57.7	49	110	86	60	2	0	7	3	0.345	0.066
診 療 所	457	594	59.1	59.0	141	291	279	277	2	0	35	26	0.604	0.215
計	1,230	1,363	61.9	62.9	418	728	733	590	6	1	73	44	0.422	0.138
合 計	2,593		62.4		1,146		1,323		7		117		0.242	

4)平成13年度大腸がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者				検査結果		異常者総計		がん発見率 (%) Q=(N+O)/D				
	A	B	C	D=B+C	E=D/A	F	G	H=F+G	I=H/D	J	K=(%) J/H	L		M	N	O	P
鳥取市	38,000	992	7,984	8,976	23.6	78	698	776	8.6	405	52.2	180	209	1	15	225	0.178
米子市	39,095		9,683	9,683	24.8		964	964	10.0	553	57.4	239	279	0	35	314	0.361
倉吉市	11,668	1,209	589	1,798	15.4	68	86	154	8.6	98	63.6	51	42	1	4	47	0.278
境港市	11,631		2,156	2,156	18.5		190	190	8.8	152	80.0	35	104	1	12	117	0.603
国府町	1,359	968	96	1,064	78.3	60	9	69	6.5	48	69.6	24	23	0	1	24	0.094
岩美町	3,436	1,164	244	1,408	41.0	81	10	91	6.5	68	74.7	27	37	0	4	41	0.284
福部村	977	211	198	409	41.9	18	20	38	9.3	10	26.3	5	5	0	0	5	0.000
都家町	2,008	1,442	96	1,538	76.6	107	6	113	7.3	66	58.4	21	44	0	1	45	0.065
船岡町	1,484	723		723	48.7	52		52	7.2	33	63.5	14	17	0	2	19	0.277
河原町	2,940	804	186	990	33.7	52	9	61	6.2	31	50.8	15	15	0	1	16	0.101
八東町	1,906	923		923	48.4	62		62	6.7	34	54.8	15	19	0	0	19	0.000
若桜町	1,419	513	476	989	69.7	26	39	65	6.6	34	52.3	19	14	1	0	15	0.101
用瀬町	2,480	503	15	518	20.9	28	1	29	5.6	19	65.5	7	11	0	1	12	0.193
佐治村	1,323	337	211	548	41.4	23	13	36	6.6	20	55.6	8	12	0	0	12	0.000
智頭町	3,048	895	325	1,220	40.0	47	11	58	4.8	44	75.9	15	27	1	1	29	0.164
気高町	2,102	61	1,024	1,085	51.6	8	93	101	9.3	67	66.3	33	31	0	3	34	0.276
鹿野町	1,609	81	544	625	38.8	1	38	39	6.2	14	35.9	8	6	0	0	6	0.000
青谷町	3,110	971	139	1,110	35.7	62	8	70	6.3	37	52.9	15	22	0	0	22	0.000
羽合町	1,156	602	39	641	55.4	32	10	42	6.6	32	76.2	14	17	0	1	18	0.156
泊村	711	184	165	349	49.1	7	26	33	9.5	28	84.8	14	14	0	0	14	0.000
東郷町	2,158	406	57	463	21.5	28	7	35	7.6	24	68.6	8	12	1	3	16	0.364
三朝町	2,074	781		781	37.7	36		36	4.6	25	69.4	15	10	0	0	10	0.000
関金町	1,898	493		493	26.0	40		40	8.1	25	62.5	15	10	0	0	10	0.000
北条町	2,414	582	165	747	30.9	46	27	73	9.8	44	60.3	13	28	1	2	31	0.402
大栄町	2,763	1,723		1,723	62.4	116		116	6.7	85	73.3	51	30	0	4	34	0.232
東伯町	4,677	1,220		1,220	26.1	93		93	7.6	73	78.5	45	26	0	2	28	0.164
赤碕町	2,864	661	33	694	24.2	55	1	56	8.1	43	76.8	18	24	0	1	25	0.144
西伯町	1,816	27	596	623	34.3	0	36	36	5.8	22	61.1	17	5	0	0	5	0.000
糸見町	1,771	368		368	20.8	25		25	6.8	20	80.0	6	11	0	3	14	0.815
岸本町	3,100	652		652	21.0	49		49	7.5	34	69.4	15	18	0	1	19	0.153
日吉津村	651	423		423	65.0	24		24	5.7	17	70.8	5	11	0	1	12	0.236
淀江町	3,826	772	149	921	24.1	53	30	83	9.0	67	80.7	37	26	0	4	30	0.434
大山町	2,314	621	50	671	29.0	48	5	53	7.9	38	71.7	17	20	0	1	21	0.149
名和町	1,718	941		941	54.8	78		78	8.3	46	59.0	19	26	0	1	27	0.106
中山町	1,313	562	104	666	50.7	35	8	43	6.5	33	76.7	16	17	0	0	17	0.000
日南町	3,514	1,060	47	1,107	31.5	101	4	105	9.5	85	81.0	44	33	0	8	41	0.723
日野町	1,502	652		652	43.4	61		61	9.4	42	68.9	18	22	0	2	24	0.307
江府町	2,081	633		633	30.4	35		35	5.5	30	85.7	8	20	0	2	22	0.316
溝口町	1,187	764		764	64.4	70		70	9.2	47	67.1	20	26	0	1	27	0.131
合計	175,103	25,924	25,371	51,295	29.3	1,805	2,349	4,154	8.1	2,593	62.4	1,146	1,323	7	117	1,447	0.242

(3) 平成13年度大腸がん検診発見大腸がん患者追跡調査結果

表1 報告癌と確定癌

	地域検診				施設検診				計			総計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	
報告癌	10	17	22	49	22	3	50	75	32	20	72	124
確定癌	8	17	21	46	22	2	48	72	30	19	69	118
腺腫	1	0	0	1	0	0	2	3	1	1	2	4
その他	1	0	1	2	0	0	0	0	1	0	1	2

表2 性及び年齢

年齢	40~	45~	50~	55~	60~	65~	70~	75~	80~	計	
地域	男	0	0	1	1	4	12	8	3	2	31
	女	1	1	2	1	3	5	1	1	0	15
	計	1	1	3	2	7	17	9	4	2	46
施設	男	0	1	0	4	1	9	15	9	3	42
	女	0	1	2	0	7	10	4	3	3	30
	計	0	2	2	4	8	19	19	12	6	72
計	男	0	1	1	5	5	21	23	12	5	73
	女	1	2	4	1	10	15	5	4	3	45
総計	1	3	5	6	15	36	28	16	8	118	

表3 部位

部位	鳥取県 (H13年度)					全国 (%) H12年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
P	0	0	0	0	0.0	0.2
R	11	5	11	27	22.9	30.9
S	11	7	25	43	36.4	34.3
D	0	1	4	5	4.2	5.4
T	4	4	8	16	13.6	9.5
A	2	0	13	15	12.7	14.3
C	2	2	8	12	10.2	5.3
V	0	0	0	0	0.0	0.1
計	30	19	69	118	100.0	100.0 n = 3,692

表4 大きさ

大きさ (mm)	鳥取県 (H13年度)					全国 (%) H12年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
0 ~ 10	12	11	20	43	36.4	25.9
11 ~ 20	8	4	20	32	27.1	33.0
21 ~ 50	8	2	20	30	25.4	35.0
51 ~	1	2	7	10	8.5	6.1
不明	1	0	2	3	2.5	
計	30	19	69	118	100.0	100.0 n = 3,360

表5 肉眼分類

肉眼型	鳥取県 (%)		全国 (%) H12年度
	H13年度	H12年度	
0	79	66.9	62.7
1	6	5.1	6.1
2	29	24.6	27.6
3	4	3.4	3.3
4	0	0.0	0.1
5	0	0.0	0.2
計	118	100.0	100.0 n = 3,668

表6 早期癌の肉眼分類

肉眼型	鳥取県 (%)		全国 (%) H12年度
	H13年度	H12年度	
I p	29	36.7	27.4
I sp	22	27.8	28.9
I s	11	13.9	16.1
II a	7	8.9	12.3
II a + II c	4	5.1	5.5
II b	1	1.3	0.0
II c	2	2.5	2.6
III	0	0.0	0.2
その他	1	1.3	1.4
不明	2	2.5	5.6
計	79	100.0	100.0 n = 2,300

表7 深達度

深達度	鳥取県 (H13年度)					全国 (%) H12年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
m	14	13	41	68	57.6	45.6
sm	5	0	6	11	9.3	18.8
小計	19	13	47	79	66.9	64.4
mp	4	1	5	10	8.5	10.8
ss	4	3	11	18	15.3	17.2
s	3	2	6	11	9.3	7.6
計	30	19	69	118	100.0	100.0 n = 3,526

表8 Dukes分類

Dukes分類	鳥取県（H13年度）					全国（%） H12年度
	東部	中部	西部	計	（%）	
A	23	16	49	88	74.6	67.5
B	4	2	12	18	15.3	13.7
C	3	1	7	11	9.3	18.8
不明	0	0	1	1	0.8	
計	30	19	69	118	100.0	100.0 n = 2,818

表9 組織型分類

組織型	鳥取県（%） H13年度		全国（%） H12年度
Well	91	77.1	72.0
Mode	23	19.5	24.8
Por	3	2.5	1.4
undiff	0	0.0	0.0
muc	0	0.0	1.1
sig	0	0.0	0.0
その他	1	0.8	0.7
計	118	100.0	100.0 n = 3,405

表10 治療法

治療方法	鳥取県（H13年度）					全国（%） H12年度
	東部	中部	西部	計	（%）	
外科手術	17	7	31	55	46.6	48.8
内視鏡治療	13	12	38	63	53.4	45.1
その他	0	0	0	0	0.0	6.1
計	30	19	69	118	100.0	100.0 n = 3,635

表11 発見大腸癌の受診前歴

受診歴	鳥取県(%) H13年度		全国(%) H12年度
	初回	39	33.1
1年前	57	48.3	46.1
2年前	13	11.0	8.8
3年前	4	3.4	3.2
4年以上前	4	3.4	5.5
不明	1	0.8	
計	118	100.0	100.0 n = 3,266

表12 平成13年度逐年検診発見進行癌

症 例			病 巣					便潜血		前年の精検	地区	検診方式
No	年齢	性	部位	大きさ (mm)	深達	肉眼型	組織型	前年	当年			
1	88	m	S	35	se	1	Well	-	+		東部	地域 検診
2	78	m	C	30	mp	1	Mode	-	-		"	
3	65	m	R	30	mp	2	Well	-	+		"	
4	85	m	S	13	mp	2	Well	+	-	異常なし	中部	
5	53	f	T	23	ss	2	Well	-	不明		"	
6	64	f	A	36	ss	2	Well	-	-		"	
7	66	f	C	60	ss	3	Mode	-	-		西部	
8	68	m	R	70	ss	2	Mode	-	+		東部	施設 検診
9	80	f	A	30	se	2	Mode	-	+		西部	
10	74	m	S	35	ss	2	Well	-	-		"	
11	65	f	A	35	ss	2	Por	+	+	ポリープ切除	"	
12	66	f	T	23	mp	1	Well	-	+		"	
13	71	m	R	33	ss	2	Well	-	+	未受診	"	
14	70	f	T	50	ss	2	Mode	+	+	異常なし	"	
15	70	f	A	65	ss	1	Por	+	+	憩室	"	
16	63	f	T	26	mp	1	Mode	-	-		"	
17	59	m	C	60	se	3	adenosq	-	+		"	

6. 肝 臓 が ん 検 診

1. 肝臓がん検診実績

平成13年度は22市町村で実施し、対象者数（基本健康診査の対象者数）は24,339人で、このうち受診者数は3,043人で受診率は12.5%であった。

一次検診の結果、要指導者は327人（10.7%）、要精検者は247人（8.1%）であった。

このうち、精密検査を受診したのは114人、精検受診率は46.2%であった。また、精検受診者114人のうち、HBs抗原陽性者は18人、HCV抗体陽性者は18人であった。

この結果、肝臓がんまたは肝臓がん疑いの者は2人であり、発見率は0.07%であった。肝臓がん2人はHCV抗体陽性者であった。

また、平成13年度の肝臓がん検診により発見されたHCV抗体陽性者51人に対し、HCV RNA検査を行った結果、19人が受診し、検査の結果陽性は9人、陰性は10人であった。

平成7年度～平成13年度の7年間を集計すると、受診者数69,988人で、そのうちHBs抗原陽性者は1,886人（2.69%）、HCV抗体陽性者は3,107人（4.44%）であった。HCV抗体陽性率は60歳以上が高く、HBs抗原陽性率は40～59歳が高い傾向は前年と同様であった。

2. 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査結果

肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検診を平成10年度より行っており、平成13年度は28市町村で実施された。

健康指導対象者はB型肝炎ウイルス陽性者が1,262人、C型肝炎ウイルス陽性者が1,112人で、このうち受診者数はB型肝炎ウイルス陽性者が483人、C型肝炎ウイルス陽性者が684人であった。

定期検査の結果、慢性肝炎と診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が90人（受診者数の18.6%）、C型肝炎ウイルス陽性者が328人（受診者数の48.0%）であった。また、肝硬変と診断された人はB型肝炎ウイルス陽性者が8人（受診者数の1.7%）、C型肝炎ウイルス陽性者が21人（受診者数の3.1%）であった。

肝臓がん疑いまたは肝臓がんと診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が2人（受診者数の0.4%）、C型肝炎ウイルス陽性者が15人（受診者数の2.2%）であった。

3. 肝臓がん検診発見肝臓がん追跡調査結果

(1) 平成13年度肝臓がん検診による発見がん2名のうち、確定調査の結果確定がんが1名であった。また、肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査の結果、がん及びがんの疑いのものが17名発見され、そのうち5名は過去の検診、定期検査で既にごんと診断されていた。残り12名の確定検査を行った結果、確定がんが6例であった。

(2) 平成7年度～13年度肝臓がん検診で確定がんが17例、平成10～13年度定期検査確定がんが26例であった。

(1) 平成13年度肝臓がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)		異常認めず	
	男	女	要 指 導		要 精 検		男	女	男	女
			男	女	男	女				
40 ~ 44	(3) 85	(2) 189	(1) 27	(0) 12	(0) 9	(0) 7	10.6	3.7	(2) 49	(2) 170
45 ~ 49	(2) 59	(5) 110	(2) 16	(0) 10	(0) 10	(0) 4	16.9	3.6	(0) 33	(5) 96
50 ~ 54	(2) 115	(2) 242	(0) 29	(0) 17	(0) 21	(0) 9	18.3	3.7	(2) 65	(2) 216
55 ~ 59	(1) 82	(5) 169	(0) 15	(0) 17	(0) 11	(1) 12	13.4	7.1	(1) 56	(4) 140
60 ~ 64	(7) 189	(4) 308	(0) 33	(0) 15	(0) 25	(0) 19	13.2	6.2	(7) 131	(4) 274
65 ~ 69	(4) 227	(7) 328	(0) 38	(1) 20	(0) 35	(1) 24	15.4	7.3	(4) 154	(5) 284
70 ~ 74	(4) 177	(5) 309	(1) 24	(0) 19	(2) 22	(1) 16	12.4	5.2	(1) 131	(4) 274
75 ~ 79	(2) 100	(7) 168	(0) 10	(1) 11	(1) 10	(1) 5	10.0	3.0	(1) 80	(5) 152
80歳以上	(4) 68	(4) 118	(1) 6	(0) 8	(0) 2	(0) 6	2.9	5.1	(3) 60	(4) 104
計	(29) 1,102	(41) 1,941	(5) 198	(2) 129	(3) 145	(4) 102	13.2	5.3	(21) 759	(35) 1,710
合 計	(70) 3,043		(7) 327		(7) 247		8.1		(56) 2,469	

* ()内はウイルス検査のみした人の再掲

2) 精密検査結果(年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女
40 ~ 44	(0) [0] 4	(0) [2] 3	44.4	42.9
45 ~ 49	(0) [0] 2	(0) [0] 3	20.0	75.0
50 ~ 54	(1) [1] 5	(4) [0] 6	23.8	66.7
55 ~ 59	(0) [1] 6	(1) [2] 6	54.5	50.0
60 ~ 64	(3) [1] 11	(2) [1] 9	44.0	47.4
65 ~ 69	(2) [2] 14	(1) [4] 15	40.0	62.5
70 ~ 74	(1) [0] 8	(2) [1] 11	36.4	68.8
75 ~ 79	(0) [1] 3	(0) [2] 4	30.0	80.0
80歳以上	(0) [0] 1	(1) [0] 3	50.0	50.0
計	(7) [6] 54	(11) [12] 60	37.2	58.8
合 計	(18) [18] 114		46.2	

* ()内はHBs抗原陽性者で再掲
* []内はHCV抗体陽性者で再掲

(単位:人)

年齢	精密検査結果										肝臓がん				肝臓がん発見率 (%)	
	異常なし		その他の疾病		その他の疾病						肝臓がん		肝臓がん			
	男	女	男	女	脂肪肝	慢性肝炎	肝硬変	アルコール性肝障害	その他	肝臓がん疑い	肝臓がん	肝臓がん	うち早期がん	男		女
				HBVキャリア・HCVキャリア	慢性肝炎	肝硬変	アルコール性肝障害	その他	肝臓がん疑い	肝臓がん	肝臓がん	うち早期がん	男	女		
40~44	0	1	4	2	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0.00
45~49	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
50~54	1	1	4	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
55~59	2	1	4	5	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0.00
60~64	2	1	9	8	2	4	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0.00
65~69	2	3	11	12	4	6	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0.44
70~74	3	2	5	9	1	4	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0.00
75~79	0	0	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.60
80歳以上	0	1	1	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0.00
計	11	12	42	47	12	19	9	16	11	8	0	10	0	1	1	0.09
合計	23	89	31	25	19	0	10	4	0	2	0	0	0	0	0	0.07

年代別肝炎ウイルス陽性率

年齢区分	一次検診受診者数		HBs抗原陽性者		HBs抗原陽性率		HCV抗体陽性者		HCV抗体陽性率	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40~44	85	189	3	4	3.5	2.1	0	2	0.0	1.1
45~49	59	110	2	0	3.4	0.0	0	0	0.0	0.0
50~54	115	242	7	5	6.1	2.1	1	0	0.9	0.0
55~59	82	169	0	2	0.0	1.2	2	3	2.4	1.8
60~64	189	308	7	3	3.7	1.0	3	2	1.6	0.6
65~69	227	328	7	5	3.1	1.5	9	8	4.0	2.4
70~74	177	309	2	5	1.1	1.6	7	4	4.0	1.3
75~79	100	168	2	0	2.0	0.0	3	3	3.0	1.8
80歳以上	68	118	0	2	0.0	1.7	1	3	1.5	2.5
計	1,102	1,941	30	26	2.7	1.3	26	25	2.4	1.3
合計	3,043	56	1.8	51	1.7					

3) 平成13年度肝臓がん検診受診状況

市町村	対象者			受診者			要指導者			要精密検査者			精検査者		精検査受診率(%)		検査結果				人員	
	A	集団検診 B	医療機関 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	集団検診 F	医療機関 G	計 H=F+G	集団検診 I	医療機関 J	計 K=L+J	要精密検査率 (%) L=K/D	M	N=M/K	O	P	Q	R	S	T=(Q+R)D		
倉吉市	1,950	(0) 39	(0)	(0) 39	2.0	(0) 5	(0)	(0) 5	(0) 2	(0) 2	(0) 2	5.1	1	50.0	1				1			
国府町	1,531	(3) 87	(3)	(3) 87	5.7	(0) 7	(0)	(0) 7	(0) 14	(0) 14	(0) 14	16.1	5	35.7	2	3			3			
福部村	802	(3) 5	(2) 6	(5) 11	1.4	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	18.2	0	0.0					0			
河原町	340	(0)	(0) 88	(0) 88	25.9	(0)	(0) 15	(0) 15	(0) 5	(0) 5	(0) 5	5.7	2	40.0	2				2			
若桜町	29	(0) 29	(0)	(0) 29	100.0	(0) 1	(0)	(0) 1	(0) 5	(0) 5	(0) 5	17.2	5	100.0	5				5			
用瀬町	2,174	(7) 24	(0) 16	(7) 40	1.8	(0) 2	(0) 0	(0) 2	(3) 6	(3) 6	(3) 6	27.5	6	54.5	6	6			6			
佐治村	31	(0) 31	(0)	(0) 31	100.0	(0) 5	(0)	(0) 5	(0) 5	(0) 5	(0) 5	16.1	2	40.0	2				2			
気高町	2,102	(0)	(0) 846	(0) 846	40.2	(0)	(0) 108	(0) 108	(0)	(0) 50	(0) 50	5.9	31	62.0	7	23	1	24	0	0.12		
鹿野町	635	(0)	(0) 11	(0) 11	1.7	(0)	(0) 0	(0) 0	(0)	(0) 0	(0) 0	0.0	0	0.0					0			
青谷町	2,882	(0) 108	(0) 85	(0) 193	6.7	(0) 9	(0) 9	(0) 18	(0) 10	(0) 10	(0) 10	9.3	0	0.0					0			
羽合町	393	(0)	(0) 41	(0) 41	10.4	(0)	(0) 10	(0) 10	(0)	(0) 3	(0) 3	7.3	2	66.7	1				1			
泊村	1,353	(1) 6	(0) 226	(1) 232	17.1	(0) 1	(0) 33	(0) 34	(0) 0	(0) 12	(0) 12	5.2	1	8.3	1				1			
東郷町	1,567	(31) 129	(14) 67	(45) 196	12.5	(4) 12	(2) 10	(6) 22	(3) 12	(1) 2	(4) 14	7.1	7	50.0	3	4			4			
三朝町	407	(7) 167	(0)	(7) 167	41.0	(0) 15	(0)	(0) 15	(0) 19	(0) 19	(0) 19	11.4	4	21.1	4				4			
北条町	150	(0)	(0) 150	(0) 150	100.0	(0)	(0) 35	(0) 35	(0)	(0) 8	(0) 8	5.3	2	25.0	2				2			
赤碓町	5,183	(0)	(0) 34	(0) 34	0.7	(0)	(0) 0	(0) 0	(0)	(0) 0	(0) 0	0.0	0	0.0					0			
西伯町	438	(0)	(0) 239	(0) 239	54.6	(0)	(0) 0	(0) 0	(0)	(0) 9	(0) 9	3.8	2	22.2	2				2			
会見町	50	(0) 46	(0)	(0) 46	92.0	(0) 5	(0)	(0) 5	(0) 6	(0) 6	(0) 6	13.0	2	33.3	2				2			
岸本町	107	(1) 107	(0)	(1) 107	100.0	(0) 12	(0)	(0) 12	(0) 21	(0) 21	(0) 21	19.6	11	52.4	2	9			9			
日吉津村	88	(0) 42	(0)	(0) 42	47.7	(0) 3	(0)	(0) 3	(0) 8	(0) 8	(0) 8	19.0	3	37.5	3				3			
大山町	2,074	(0) 251	(0) 50	(0) 301	14.5	(0) 13	(0) 8	(0) 21	(0) 26	(0) 26	(0) 26	9.3	26	92.9	8	17	1	18	0.33			
溝口町	113	(1) 52	(0) 61	(1) 113	100.0	(1) 9	(0) 0	(1) 9	(0) 0	(0) 0	(0) 0	6.2	2	28.6	2				2			
合計	24,399	(54) 1,123	(16) 1,920	(70) 3,043	12.5	(5) 99	(2) 228	(37) 327	(6) 141	(1) 106	(7) 247	8.1	114	46.2	23	89	0	2	91	0.07		

()内はウイルス検査のみした人の再掲

4) 平成7～13年度年代別肝臓がん検診結果

年 齢	一次検診受診者数 (人)		HBs抗原陽性者 (人)		HBs抗原陽性率 (%)		HCV抗体陽性者 (人)		HCV抗体陽性率 (%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	1,511	3,158	74	103	4.90	3.26	31	40	2.05	1.27
45 ~ 49	1,668	3,678	91	151	5.46	4.11	30	86	1.80	2.34
50 ~ 54	1,533	4,330	87	174	5.68	4.02	25	140	1.63	3.23
55 ~ 59	1,676	5,188	60	172	3.58	3.32	58	212	3.46	4.09
60 ~ 64	3,857	8,279	117	176	3.03	2.13	157	422	4.07	5.10
65 ~ 69	4,960	8,641	126	177	2.54	2.05	254	462	5.12	5.35
70 ~ 74	4,186	6,902	76	129	1.82	1.87	253	386	6.04	5.59
75 ~ 79	2,254	3,927	50	62	2.22	1.58	130	204	5.77	5.19
80歳以上	1,606	2,634	17	44	1.06	1.67	99	118	6.16	4.48
計	23,251	46,737	698	1,188	3.00	2.54	1,037	2,070	4.46	4.43
合 計	69,988		1,886		2.69		3,107		4.44	

(2) 平成7年度から12年度肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者の定期検査結果

1) 平成13年度B型肝炎ウイルス陽性者年代別定期検査結果報告

年齢	健康指導対象者 (平成13年4月1日現在の 実人数)		受診者数 (平成14年3月31日現在の 実人数)		定期検査結果																					
	男	女	男	女	無症候性HBs キャリア		脂肪肝		慢性肝炎		肝臓炎症		肝硬変		アルコー 肝臓性障		肝臓がん 疑い		肝臓がん		その他の疾病		その他			
					男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40~44	18	33	5	11	3	9	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45~49	44	68	9	21	5	13	0	2	3	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50~54	61	128	17	44	16	33	0	1	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55~59	51	114	13	47	7	36	0	5	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
60~64	44	114	15	50	13	39	0	1	2	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	65	132	30	56	18	37	0	4	9	10	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
70~74	62	115	35	53	23	34	0	5	7	12	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
75~79	30	71	16	24	9	20	0	1	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上	34	78	13	24	9	18	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	409	853	153	330	103	239	0	20	34	56	4	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
合計	1,262		483		342		20		90		8		2		0		2									10

2) 平成13年度C型肝炎ウイルス陽性者年代別定期検査結果報告

年齢	健康指導対象者 (平成13年4月1日現在の 実人数)		受診者数 (平成14年3月31日現在の 実人数)		定期検査結果																					
	男	女	男	女	無症候性HCV キャリア		脂肪肝		慢性肝炎		肝臓炎症		肝硬変		アルコー 肝臓性障		肝臓がん 疑い		肝臓がん		その他の疾病		その他			
					男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40~44	5	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45~49	8	11	2	8	0	3	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50~54	10	37	4	18	0	3	0	1	3	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
55~59	10	49	5	25	1	6	0	0	3	17	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
60~64	28	100	16	61	5	17	0	2	10	29	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
65~69	61	161	40	98	8	27	0	5	26	46	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
70~74	86	171	59	126	15	43	2	1	24	62	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
75~79	73	131	46	82	11	32	0	1	24	34	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
80歳以上	68	101	38	54	9	21	1	0	14	18	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
計	349	763	211	473	49	152	3	11	106	222	7	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
合計	1,112		684		201		14		328		21		1		6		9									91

	健康指導 対象者数	定期検査 受診者数	慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん疑い または肝臓がん
B型肝炎ウイルス陽性者	1,262	483	90 (18.6%)	8 (1.7%)	2 (0.4%)
C型肝炎ウイルス陽性者	1,112	684	328 (48.0%)	21 (3.1%)	15 (2.2%)

(3) 平成13年度肝臓がん検診等発見がん患者追跡調査結果について

1) 平成13年度肝臓がん検診発見癌または癌疑いおよび定期検診(がん疑いまたはがん)

(検診発見癌または癌疑い)

	年齢	性	診断	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	AFP
1	77	女	癌なし								C	124
2	66	男	肝癌	TAE	01.9.19	単発	S6	100×100	腫瘤	無	C	260

(定期検査による発見癌または癌疑い)

1	65	男	肝癌	切除	98.2.5	単発	S1	90×90	腫瘤	有	B	28,396
2	67	男	肝癌	切除	01.11.19	単発	S8	13×13	腫瘤	有	B	5
3	76	女	肝癌	TAE	01.8.1	単発	S7	15×15	腫瘤	有	C	3
4	66	女	肝癌	TAE	01.7.26	単発	S7	10×10	腫瘤	無	C	5
5	75	女	肝癌	TAE	02.3.4	単発	S5/6	37×31	腫瘤	無	C	719
6	73	男	肝癌	TAE	01.4.10	単発	S5	20×20	腫瘤	有	C	2,074
7	88	男	癌なし								C	33
8	60	女	癌なし								C	4
9	70	女	癌なし								C	11
10	69	女	肝嚢胞								C	3
11	78	男	癌なし								C	4
12	70	女	血管腫								C	39

2) 平成10年～平成12年度肝炎ウイルス陽性者定期検査による発見癌追跡調査報告

	年齢	性	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備考
1	71	男	切除	95.8	単発			腫瘤	有	C	
2	63	男	切除	97.2.26	単発	S8	30×30	腫瘤	有	C	4年6か月後死亡
3	71	男	TAE	97.7.16	2個	S6,8	30×30	腫瘤	無	C	4年8か月後再発
4	63	女	PEIT	97.12.3	単発	S2	10×10	腫瘤	無	C	無再発生存中
5	59	男	TAE	98.5	単発	S8	20×20	腫瘤	有	B	再発、3年2か月後死亡
6	76	女	TAE	98.6.30	単発	S8	30×30	腫瘤	有	C	再発、2年3か月後死亡
7	70	男	切除	98.9.1	単発	S8	40×30	腫瘤	有	C	再発、2年9か月後死亡
8	68	男	MCT	99.1.25	4個	S2,3,7,7	27×27	腫瘤	有	C	再発、3年5か月後死亡
9	83	男	TAE	99.2.11	>4個	S3,5,6,7,8	40×30	腫瘤	有	C	11か月後死亡
10	79	男	TAE	99.6.9	単発	S8		浸潤	有	C	8か月後死亡
11	64	男	切除	00.2.8	2個	S5/6,4	75×70	腫瘤	無	C	再発、生存中
12	79	女	TAE	00.3.1	単発	S6	10×10	腫瘤	有	B	5か月後再発
13	66	男	切除	00.9.27	2個	S6,5	15×15	腫瘤	有	B	無再発生存中
14	82	男	TAE	00.4.5	単発	S4	55×40	腫瘤	有	C	1年2か月後他病死
15	74	女	切除	00.2.28	単発	S2	32×32	腫瘤	有	C	2年5か月後再発
16	64	女	TAI	99.10.14	>4個	S2,3,4,5,7	10×10	腫瘤	有	C	無再燃生存中
17	75	男	TAE	00.4.19	単発	S7	30×30	腫瘤	無	C	無再発生存中
18	75	男	TAE	97.11	>4個	S4,5,6,8	25×25	腫瘤	有	C	4年1か月後他病死
19	86	男	PEIT	00.8.18	単発	S4	15×15	腫瘤	無	C	無再発生存中
20	70	女		00.7.2						C	同月死亡
21	65	男	切除	98.2.5	単発	S1	90×90	腫瘤	有	B	3年10か月後死亡
22	67	男	切除	01.11.19	単発	S8	13×13	腫瘤	有	B	無再発生存中
23	76	女	TAE	01.8.1	単発	S7	15×15	腫瘤	有	C	無再発生存中
24	66	女	TAE	01.7.26	単発	S7	10×10	腫瘤	無	C	無再発生存中
25	75	女	TAE	02.3.4	単発	S5/6	37×31	腫瘤	無	C	無再発生存中
26	73	男	TAE	01.4.10	単発	S5	20×20	腫瘤	有	C	7か月後死亡

3) 平成7年～平成13年度肝臓がん検診発見癌追跡調査報告

	年齢	性	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	
1	74	女	切除	95.10.24	単発	S4	55×55	腫瘤	有	C	1年6か月後再発
2	70	女	TAE	96.2.20	単発	S8	40×38	腫瘤	無	C	死亡
3	63	女	切除	96.3.13	単発	S7	30×23	腫瘤	有	C	無再発生存中
4	83	男	TAE	96.7.15	単発	S4	12×12	腫瘤	無	C	再発、3年9か月後死亡
5	74	女	TAE	96.8.29	>4個	S5, 6, 7, 8	35×35	腫瘤	無	C	再発、1年8か月後死亡
6	64	女	TAE	96.10.25	>4個	S6, 7	67×57	腫瘤	無	B	9か月後死亡
7	72	男	TAE	96.11.1	2個	S6	20×20	腫瘤	有	C	再発、1年1か月後死亡
8	70	男	PEIT	96.11.22	単発	S5	25×25	腫瘤	有	C	再発、5年2か月後死亡
9	69	男	PEIT	97.1.7	単発	S7	10×9	腫瘤	無	C	2年6か月後再発
10	73	女	TAE	97.11.17	>4個	S2, 3, 4	80×60	腫瘤	無	C	3か月後死亡
11	61	男	TAE	97.11.17	3個	S5, 6, 8	15×10	腫瘤	有	C	再発、2年3か月後死亡
12	75	男	TAE	97.12.4	単発	S7/8	40×32	腫瘤	無	C	7か月後死亡
13	57	男	TAE	98.3.3	単発	S1	70×50	腫瘤	有	B	1年後死亡
14	80	女	切除	98.7.31	単発	S5/6	25×25	腫瘤	無	C	9か月後死亡
15	49	男	RES	99.12.15	>4個	S4, 5, 6, 8	80×80	浸潤	無	B	4か月後死亡
16	69	男	切除	00.12.23	単発	S8	50×50	腫瘤	無		再発、1年5か月後死亡
17	66	男	TAE	01.9.19	単発	S6	100×100	腫瘤	無	C	

7. 全国がん検診実績との比較

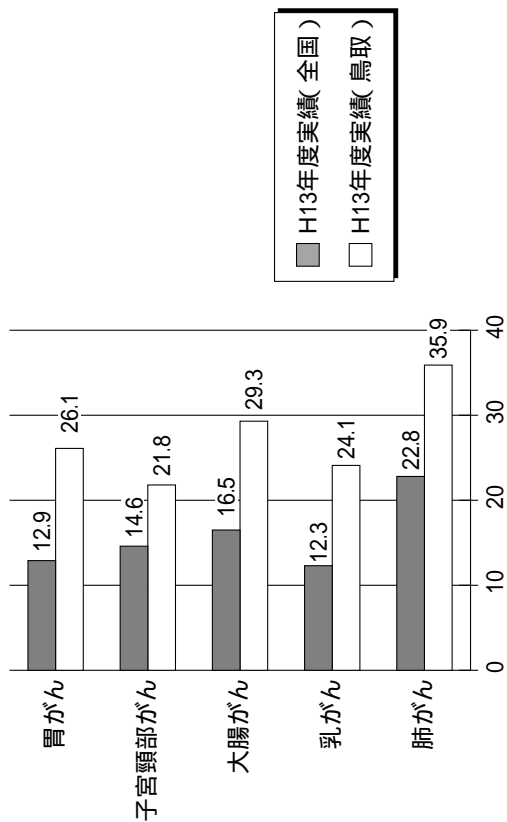
(単位：人 %)

	区 分	平成13年度実績（鳥取）	平成13年度実績（全国）
胃 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	167,336	33,251,303
	受 診 者 数（人）	43,636	4,302,562
	受 診 率（%）	26.1	12.9
	要 精 検 者 数（人）	4,286	495,174
	要 精 検 率（%）	12.6	11.5
	精 検 受 診 者 数（人）	3,212	427,970
	精 検 受 診 率（%）	74.9	86.4
	がん又はがんの疑いのある者	148	7,670
	が ん 発 見 率（%）	0.34	0.18
	H 13年度受診率全国順位	7位	
子 宮 頸 部 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	121,326	26,116,115
	受 診 者 数（人）	26,486	3,825,670
	受 診 率（%）	21.8	14.6
	要 精 検 者 数（人）	148	36,614
	要 精 検 率（%）	0.56	0.96
	精 検 受 診 者 数（人）	124	31,618
	精 検 受 診 率（%）	83.8	86.4
	がん又はがんの疑いのある者	49	7,327
	が ん 発 見 率（%）	0.19	0.19
	H 13年度受診率全国順位	11位	
肺 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	174,453	32,553,392
	受 診 者 数（人）	62,631	7,412,212
	受 診 率（%）	35.9	22.8
	要 精 検 者 数（人）	216	204,279
	要 精 検 率（%）	0.34	2.8
	精 検 受 診 者 数（人）	152	178,230
	精 検 受 診 率（%）	70.4	87.2
	がん又はがんの疑いのある者	43	7,274
	が ん 発 見 率（%）	0.07	0.10
	H 13年度受診率全国順位	17位	

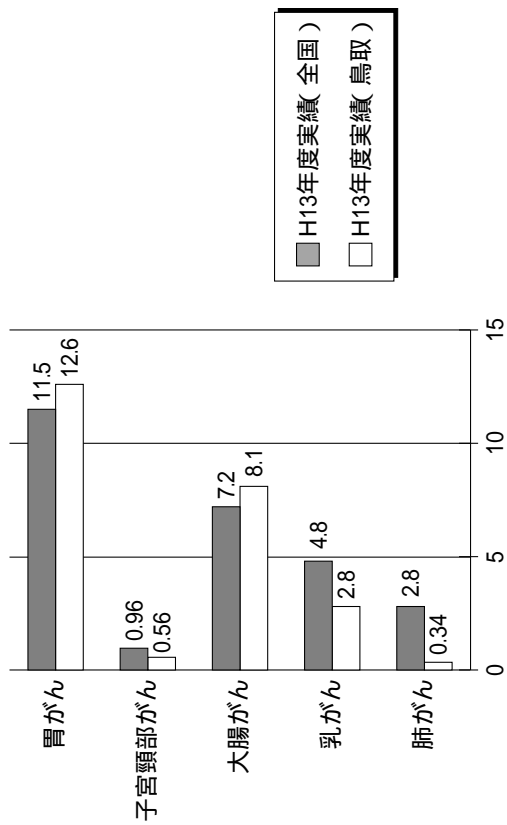
区 分		平成13年度実績（鳥取）	平成13年度実績（全国）
乳 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	123,896	26,594,485
	受 診 者 数（人）	29,840	3,279,212
	受 診 率（％）	24.1	12.3
	要 精 検 者 数（人）	837	158,742
	要 精 検 率（％）	2.8	4.8
	精 検 受 診 者 数（人）	692	141,754
	精 検 受 診 率（％）	82.7	89.2
	がん又はがんの疑いのある者	38	5,388
	が ん 発 見 率（％）	0.13	0.16
	H 13年度受診率全国順位	5位	
大 腸 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	175,103	34,983,972
	受 診 者 数（人）	51,295	5,755,703
	受 診 率（％）	29.3	16.5
	要 精 検 者 数（人）	4,154	411,856
	要 精 検 率（％）	8.1	7.2
	精 検 受 診 者 数（人）	2,593	314,456
	精 検 受 診 率（％）	62.4	76.4
	がん又はがんの疑いのある者	124	12,062
	が ん 発 見 率（％）	0.24	0.21
	H 13年度受診率全国順位	6位	

老人保健事業健康診査（平成13年度実績）

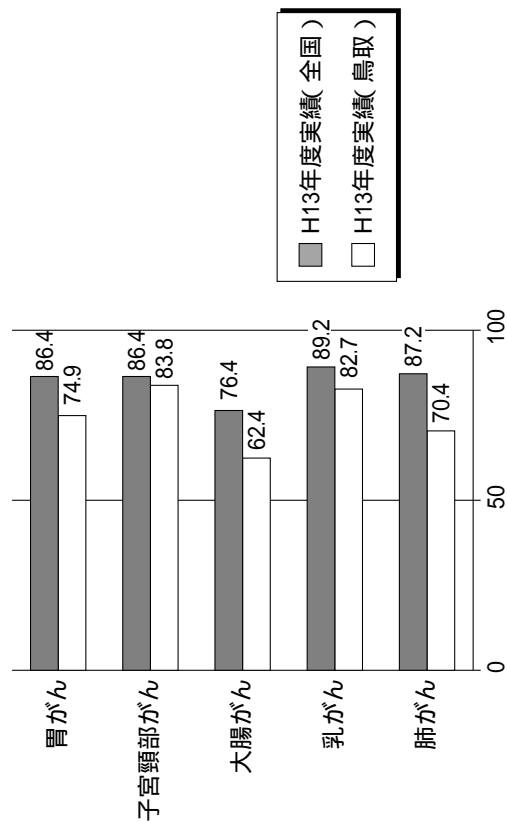
受診率（％）



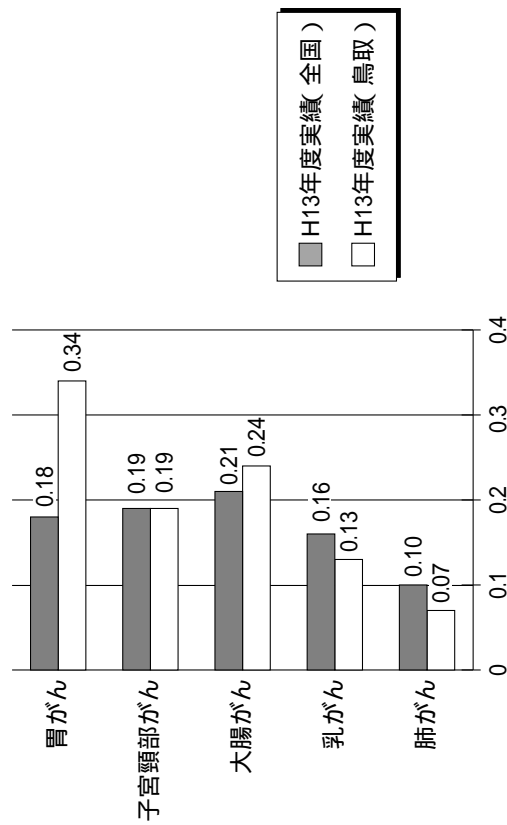
要精検率（％）



精検受診率（％）



がん発見率（％）



Ⅲ . 平成14年度各がん検診従事者講習会及び 症例研究会開催状況

平成14年度がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況

事	業	名	開催日時	場	所	出席者	内	容
胃	がん	胃がん検診従事者講習会 及び症例研究会	平成15年3月15日(土) 午後4時	倉吉市 中部医師会館		82名	演題：「胃X線検査におけるH. Pylori感染の診断能 要精検率の低減をめざして」 講師：島根県環境保健公社総合健診センター所長 有馬範行先生 症例検討 東部 1例：鳥取赤十字病院 堀江 聡先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 佐藤 徹先生 西部 1例：国立米子病院 木村 修先生	
子宮がん		子宮がん検診従事者講習会	平成15年2月13日(木) 午後4時	倉吉市 倉吉交流プラザ		49名	演題：「若年者子宮頸癌の最近の話題」 講師：鳥取大学医学部器官制御科学講座生殖機能医学分野助教授 細川純三先生	
		子宮がん検診症例検討会	平成14年12月8日(日) 午後1時	米子市 西部医師会館		55名	症例提示4例	
肺	がん	肺がん検診従事者講習会 及び症例研究会	平成15年2月15日(土) 午後4時	倉吉市 倉吉未来中心		71名	演題：「肺癌の画像診断 診断困難例を中心に」 講師：兵庫県立成人病センター放射線科部長 足立秀治先生 症例検討 東部 2例：鳥取県立中央病院 森本啓介先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 吹野俊介先生 西部 2例：国立米子病院 中村廣繁先生	
乳	がん	乳がん検診従事者講習会 及び第10回鳥取県検診発見 乳がん症例検討会	平成14年8月10日(土) 午後4時	倉吉市 中部医師会館		103名	シンポジウム：「MMG併用検診の問題点をめぐって」 シンポジスト： ①MMG併用検診実施の医療機関の経験 日野病院副院長 岡野一廣先生 ②MMG併用検診を実施して得られた事 講口町福祉保健課課長補佐 絹谷裕美子氏 ③行政の立場から見たMMG検診の実施現場の問題点 倉吉市長寿社会課主任保健師 福田美子氏 ④MMG併用検診実施と放射線技師の役割 鳥取県立厚生病院放射線技師 松原雅己氏 ⑤県下各市町村のマンモグラフィ併用検診の実施状況 健対協・乳がん対策専門委員会委員 深田民人先生 症例検討 東部 1例：鳥取市立病院 渡辺直樹先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 足立洋心先生 西部 1例：博愛病院 村田陽子先生	

事	業 名	開 催 日 時	場 所	出 席 者	内 容
大腸がん	大腸がん検診従事者講習会 及び症例研究会	平成14年8月8日(木) 午後4時	鳥取市 鳥取県健康会館	114名	演題：「大腸がん外科治療の進歩と現状について」 講師：鳥取大学医学部附属病院第1外科 牧野正人先生 東部 1例：鳥取県立中央病院 津本順史先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 嵯峨山 敦先生 西部 1例：鳥大医 第2内科 細田明秀先生
肝臓がん	肝臓がん検診従事者講習会 及び症例研究会	平成15年2月22日(土) 午後4時	米子市 西部医師会館	116名	演題「肝炎ウイルスキャリアをフォロワーアープできていますか」 講師：山陰労災病院第2消化器内科部長 岸本幸廣先生 東部 1例：鳥取赤十字病院 松田裕之先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 佐藤 徹先生 西部 2例：鳥大医 第2内科 川上万里先生

1. 胃がん検診症例研究会

日 時 平成15年3月15日(土) 午後4時

場 所 鳥取県中部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 堀 江 聡

52歳、女性

集検歴：平成11年 異常なし

平成12年 異常なし

平成13年 異常なし

平成14年 異常なし

経 過：平成14年11月14日の他施設にての検診時胃X線上、異常指摘を受ける。要精査の指示あり、11月19日当院受診。内視鏡上、胃前庭部前壁に3型胃癌を認めた。生検にて低分化腺癌の診断。腹部CT上、肝門部リンパ節転移あり。化学療法にて加療中である。

検 討：平成14年集検フィルム

前壁の病変であり病変全体は描出されていないが、前庭部小弯の壁不整は指摘出来た。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 佐 藤 徹

66歳、女性

集検歴：平成11年 異常なし

平成12年 異常なし

平成13年 胃角小弯辺縁不整、3、要精検

経 過：平成13年4月頃より心窩部痛あった。平成13年5月15日胃集検受けるも、その結果を待たずに近医受診、内視鏡検査にて異常を指摘され当院紹介受診。胃内視鏡検査、胃レントゲン検査にて胃体部小弯のⅡc型胃癌を認め胃切除術施行。腫瘍は2.5×1.3cm、Ⅱc、深達度m、組織型poorly differentiated adenocarcinomaであった。

検 討：平成13年の胃集検にて他部位のチェックにて発見された症例であるが、平成13年の集検フィルムについて病変部位はチェック可能と考えられた。平成12年の集検フィルムにても病変部位はチェック可能ではとの意見であった。

〔西部症例〕

提出者：国立米子病院 木 村 修

71歳、男性

集検歴：平成14年9月 胃集検(車検診) 異常なし

経 過：平成14年夏頃より空腹時の心窩部痛を認めていたが、9月に受けた集検にて異常なしと判断されたため経過を見ていた。しかし、12月下旬頃から心窩部痛が増強するようになったため平成15年1月8日、近医を受診、胃X線検査、胃内視鏡検査を受け、幽門狭窄を認める進行胃癌と診断され、手術目的にて当科紹介となった。

平成15年1月30日、幽門側胃切除術を施行したが、癌腫は臍頭部に直接浸潤し、広範なりリンパ節転移が認められ、臍頭部部分切除、リンパ節郭清を行った。癌腫は4.5×8.5cm、2

型、por1 > muc > sig、sei、INF₇、1y₃、v₁、n₁(+) stage IVであった。

検 討：集検フィルムでは、幽門前庭部が十二指腸と重なり、前庭部の病巣がまったく見えない。前庭部の病巣を確実に描出できる撮影法、例えば少量バリウムによる腹臥位二重造影などの工夫、採用が重要であると考えられた。

2. 子宮がん検診症例研究会

日 時 平成14年12月8日(日) 午後1時

場 所 鳥取県西部医師会館

挨拶

寺川直樹鳥取県成人病検診管理指導協議会子宮がん部会長と大石 徹鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会委員長の挨拶があった。

1. 症例検討

鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学分野教授紀川純三先生の進行により、施設検診症例 4例について症例検討が行われた。

平成14年度子宮がん検診症例検討会提出症例

症例No	生年月日	市町村名	検診月日	一次検診機関	一次検診結果	精密検査機関	精密検査結果	治療機関名
症例 1	S 47 .11 .13	青谷町	H 13 . 05 .29	鳥取県保健事業団	IIIa mild dysplasia and HPV疑	鳥取赤十字病院	mild dysplasia and koilocytosis	鳥取赤十字病院
症例 2	S 46 .05 .22	米子市	H 13 . 09 .11	脇田ウィメンズヘルスケアセンター	CT II コルポ診 疑性より要精検 臨床診断 頸部異 形成	脇田ウィメンズヘルスケアセンター	細胞診にて class II クラジミア抗原(+)	脇田ウィメンズヘルスケアセンター
症例 3	S 43 .03 .26	気高町	H 13 . 08 .31	鳥取県立中央病院	IIIa mild dysplasia	鳥取県立中央病院	mild dysplasia	鳥取県立中央病院
症例 4	S 27 .09 .20	米子市	H 13 . 09 .19	博愛病院	疑陽性	母と子の長田 産科婦人科ク リニック	endometrial hyperplasia atypical hy- perplasia	母と子の長田 産科婦人科ク リニック

3. 肺がん検診症例研究会

日 時 平成15年2月15日(土) 午後4時

場 所 倉吉未来中心

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取県立中央病院 森 本 啓 介

症例Ⅰ：76歳、女性

主 訴：胸部X線写真異常陰影

生活歴：タバコ喫煙歴なし

既往歴：糖尿病(網膜症)、高脂血症、子宮癌手術(52歳)、左乳癌手術(64歳)

現病歴：前年の肺がん検診での胸部X線写真では異常なし。平成14年2月、肺がん検診の胸部X線写真で左肺尖部の異常陰影を指摘され(D判定)、当院へ紹介された。自覚症状なし。

臨床経過：胸部X線写真で左肺尖部に径2cmの腫瘤影が見られ、胸部CTでは左S1+2に20×30mmの腫瘤影として認められた。CTガイド下肺生検で腺癌(肺原発)と診断された。腫瘍マーカーはCEA 7.1ng/ml、SLX 39.3U/mlと軽度上昇を示した。うつ病の治療後、平成14年6月3日、左肺上葉切除術+リンパ節郭清(ND2a)を施行した。切除標本では左S1+2に21×15×30mmの腫瘍を認め、病理組織診断では中分化型腺癌、縦隔リンパ節(#1, 5, 6)および肺門リンパ節(#12)に転移が見られた(T₁N₂M₀、stage IIIA)。

症例Ⅱ：76歳、男性

主 訴：胸部X線写真異常陰影

生活歴：喫煙歴 40本/日×45年

既往歴：肺結核手術(37歳)、慢性胃炎

現病歴：近年の肺がん検診は受けていなかった。平成13年11月、肺がん検診の胸部X線写真で右下肺野異常陰影を指摘され、当院へ紹介された。自覚症状なし。

臨床経過：胸部X線写真で左下肺野に径1cmの腫瘤影が見られ、胸部CTでは右S4に20×15mmの腫瘤影として認められた。CTガイド下細胞診で高分型腺癌が考えられた。平成14年2月21日、胸腔鏡補助下に右肺中葉切除術+リンパ節郭清(ND2a)を施行した。切除標本では右S4に15×15×15mmの腫瘍を認め、病理組織診断では腺癌(Noguchi C型)でリンパ節転移は見られなかった(T₁N₀M₀、stage IA)。

症例Ⅰは術後4か月の外来での胸部X線写真では再発所見を認めず経過良好であったが、術後5か月に脳出血にて他院で死亡した。症例Ⅱは術後1年で再発転移を認めなかったが、慢性胃炎に対する胃内視鏡検査で早期胃癌(IIa)と診断されEMRが施行された後、健存中である。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 吹 野 俊 介

69歳、男性

主 訴：胸部X線写真異常陰影

既往歴、家族歴に特記すべきことなし。

生活歴：タバコ指数 50本×30年

現病歴：平成10年、平成11年の検診では、異常なしとされた。2年間検診を受けなかったが、平成14年6月に検診を受け、胸部X線写真の異常陰影を指摘され、7月9日当院を受診した。

身体所見：特に異常なし。

検査所見：末梢血、尿、一般生化学検査に異常なし。

腫瘍マーカー CEA 4.1ng/ml、SCC抗原0.7ng/ml

臨床経過：平成10年、11年、14年の胸部X線写真を比較すると、平成11年の段階で右上肺野の陰影を指摘することができた。また今回の胸部CTでは右S1、S3、S4に異常陰影を認めるが、胸部X線写真ではS1の陰影しか指摘できなかった。S3、S4の陰影は、ともにGGOを呈していた。CTガイド下肺生検でS1、S4より腺癌の病理診断を得て、同時性肺多発癌と診断した。胸腔鏡下右上中葉切除、ND2aリンパ節廓清を行った。腫瘍は、右S1は2.9×2.0×1.9cmで乳頭腺癌、右S3は0.7×0.5cmでBAC、右S4は2.8×2.6×1.8cmでBACであった。臨床的にも、病理学的にも同時性多発肺癌で矛盾なしと判断された。

多発肺癌は、同時性、異時性とあるが、どちらにしても肺内転移との鑑別に困難を要することが多い。今回の症例では、BACと乳頭腺癌というところで、比較的鑑別は容易であった。治療においては、肺機能の温存をより一層考慮しながらの手術が必要である。そして第3癌、第4癌に備えて厳重な経過観察が必要と考える。

また、足立先生より胸部CTで胸膜嵌入部における癌の胸膜浸潤の診断について貴重なコメントを御教示いただいた。

〔西部症例〕

提出者：国立米子病院 中村 廣 繁

症例Ⅰ：57歳、女性

主訴：咳嗽

現病歴：毎年肺癌検診を受けるが、異常を指摘されたことはなかった。最終受診は平成13年8月9日。平成13年12月頃から咳嗽を生じ、平成14年2月6日、近医を受診して胸部X線異常陰影を指摘され、当院を紹介受診した。

臨床経過：胸部X線で右下肺野に約5cm大の腫瘤を認め、平成13年8月の検診写真でも右乳頭と重なる部位に約1cm大の異常陰影を指摘できる。胸部CTでは右S8からS4にかけて葉間を越える腫瘍を認め、気管分岐部のリンパ節腫大も認めた。気管支鏡下生検で肺癌と診断され、右肺中下葉切除＋リンパ節廓清を施行した。病理では、腺扁平上皮癌、腫瘍径50×40×49mm、pT₃N₂M₀、ⅢAと診断された。術後に放射線、化学療法を施行して軽快退院となったが、術後11ヶ月で脳転移のため癌死された。

本症例は毎年検診を受けていたにもかかわらず、自覚症状により肺癌が発見されるといういわゆる“検診間発見肺癌”の症例である。検診間発見肺癌の特徴としては1)進行の早い肺癌、2)肺門部の肺癌、3)検診での見落とし肺癌などが考えられるが、本症例は腺扁平上皮癌で悪性度が高くて進行が早かったことと、検診において正常構造との重なりのため見落とされた可能性が高いと考えられた。検診間発見肺癌は肺癌検診のLength bias(検診では単に進行度の遅い予後のいい肺癌しか発見していない)の問題や精度管理を考える上で重要であり、症例を解析していく必要があると考えられた。

症例Ⅱ：70歳、男性

主 訴：胸部X線異常陰影

現病歴：平成10年、11年、12年は検診を受けるが異常を指摘されなかった。平成13年は検診を受けず。平成14年10月15日検診でD判定（右下肺野）となり、保健所を受診後、要精査となり当院を受診した。

臨床経過：胸部X線で右下肺野の横隔膜上に異常陰影を認めた。胸部CTで下葉S10を中心に8 cm大の腫瘍を認めた。エコーガイド下の生検で肺癌を疑われ、右肺下葉切除＋リンパ節郭清が行われた。腫瘍径85×70×65mm、粘液産生型の肺腺癌で、pT₂N₂M₀、stage IIIAの進行肺癌と診断された。現在、術後の化学療法を施行中である。

検診は本来、腫瘍径の小さな早期肺癌を発見することが目的であるが、意に反してしばしば大きな進行癌が発見される。その理由として、1) 進行の早い悪性度の高い肺癌、2) 初回検診もしくは前年検診を受けていない、3) 検診における見落としなどが考えられる。本症例は前年検診を受けていなかったこと。腫瘍が右横隔膜と重なり、発見が遅れたことが要因と考えられた。平成13年度の鳥取県の検診で発見された肺癌30例を解析すると、平均腫瘍径は33.5mmで5 cm以上のものが3例あった。これらの症例を検討して発見が遅れた要因を解析することは、検診間発見肺癌と同様に肺癌検診の精度管理を考える上で重要な問題であると考えられた。

4 . 乳がん検診症例研究会

日 時 平成14年 8 月10日 (土) 午後 4 時

場 所 鳥取県中部医師会館

〔 東部症例 〕

提出者：鳥取市立病院 渡 辺 直 樹

58歳、女性

平成 5 年 8 月 9 日に右側乳癌 $t_3 n_0 M_0$ scirrhous, f, EIQ (+) ly_{i_1}, v_1 , にてBt + Ax + Mj + Mnを施行されている。術後 2 年間はTMA + 5 ' DFURにてコントロールされていた。

その後も外来にて再発の定期的なチェックを行っていた。

本年 9 年目の定期検診にて健常側のMMG施行。ItE領域にFine linear, clustered、カテゴリーVの異常陰影をみとめ、同部よりABC施行した。当院ではMMGガイド下での穿刺設備はなく、USでも病巣は判然としないため、Blindにて、穿刺を行った。細胞診にて乳癌の診断を得て手術となった。

平成14年 7 月15日 Bt + Ax (Level II) を施行。病理結果は $t_2 n_0 M_0$ sentinel LN () で、truly negative, papillo tubular adenocarcinoma F, EIQ (+) 大半はDCISの像を呈しつつ乳腺全体に伸展していた。

乳癌術後の経過観察の有効性においてほぼ唯一Evidenceが得られているのは対側MMGである。これによって対側術後 9 年目に早期に発見された非触知乳癌について、そのMMGとともに供覧した。

〔 中部症例 〕

提出者：鳥取県立厚生病院 足 立 洋 心

44歳、女性

現病歴では検診は毎年受診しており、平成13年11月 6 日町の検診にて左乳房の腫瘤を指摘され、平成13年11月11日当科受診となる局所所見として左乳房Careaに径 2 cm大のhard tumorを触知、境界は不明瞭であった。マモグラフィでは左のC領域に20×17mmの円形の濃厚な腫瘤陰影を認めた。Spiculaはあったが、微小石灰化は認めず、カテゴリーIVであった。エコーでは左乳房のCareaに径20 mm大のlow desity areaを認めた。形状は不整、辺縁は不整であり、内部エコーは不均一であった。ABCがclass Vであった。手術は乳房温存手術 (Bp + Ax) を行い、術後50Gの放射線療法を施行した。組織はsolid tubular type n_0 で、ER (-) PgR (-) HER2 (3 +) であった。術後化学療法として、CEFを施行するも副作用が強く、タキソテールに変更した。検診にて早期に発見し、治療した一例を報告した。

〔 西部症例 〕

提供者：博愛病院 村 田 陽 子

57才、女性

毎年乳癌検診を受け、平成12年 6 月は異常なし。平成13年12月乳房視触診検診で左乳房腫瘤を指摘された。以前自己検診を指導されてからときどき行っていたが、座位のみで行っており、今回の腫瘤には全く気づかなかった。

触診所見：左C領域乳頭よりに、3 cm大の腫瘤を触知。比較的大きい乳房で、座位ではわかりにくかった。

MMG所見：spiculated tumorあり、カテゴリー 5

US所見：典型的硬癌の所見を示す。背景に乳腺症あり、low density areaが散在。

MRM所見：主腫瘤以外に、明らかに濃染される小腫瘤を 2 カ所に認めた。

穿刺吸引細胞診：硬癌

手術：多発癌として、胸筋温存乳房切除術施行。MRMで認められた小腫瘤も、径3 mmの硬癌であった。

せっかく自己検診を行いながら、3 cmの腫瘤を発見できなかった症例である。個人の乳房の状態に即した正しい自己検診方法の指導が必要である。

また、5 mm以下の非触知乳癌が、すでに浸潤癌として発見された。乳癌検診への、画像診断の導入が望まれる。

5 . 大腸がん検診症例研究会

日 時 平成14年 8 月 8 日 (木) 午後 4 時

場 所 鳥取県健康会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取県立中央病院 津 本 順 史

78歳、男性

現病歴：平成14年 5 月31日大腸がん検診受診。便Hb 2 日法で両日とも陽性となった。6 月19日近
医にて大腸X線検査を受け下行結腸にapple coreおよびS状結腸にいくつかpolypを指摘
された。6 月25日当院紹介受診。

身体所見：右下腹部にクルミ大の腫瘤を触知。

血液生化学所見：CEA3.3 CA19.9 15.7 他、特記すべきものなし。

大腸内視鏡検査およびpolypectomy結果（7月9日）

- ① 下行結腸 2 型 wel (biopsy)
- ② S 状結腸 lp 15 × 10mm wel sm2 ly₁ v₂ (polypectomy)
- ③ S 状結腸 lp 12 × 7mm TVA (polypectomy)
- ④ S 状結腸 ls 10 × 8mm mod sm2 ly₁ v₂ (polypectomy)

S 状結腸の 2 病変で深達度がsm2であったため下行結腸およびS状結腸切除術をおこな
った（7月22日）

2 型 35 × 40mm D mod se ly₂ v₂ n₁ stage IIIa curA

検 討：S 状結腸の 2 病変についてX線検査および内視鏡検査で深達度が判断できるかどうか検討
された。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 嵯峨山 敦

49歳、女性

現病歴：平成14年 5 月、右下腹部痛のため当院受診。右下腹部に小児頭大の腫瘤を触知。腫瘤は表
面不整、硬、拍動なし、圧痛あり。

腹部単純X線：右下腹部に小児頭大の糞便塊を認めた。

腹部超音波：触知した小児頭大の腫瘤の肛門側に、pseudokidneyサインを伴う腫瘤を認めた。

腹部CT：右下腹部に径10cmの糞便塊があり、その肛門側に造影効果がある不整な大腸壁の肥厚を
認め、大腸癌を疑った。

注腸造影：上行結腸に全周性狭窄を認めた。

大腸内視鏡：上行結腸に、2' typeの腫瘍を認めた。

手 術：右半結腸切除術、P₀H₀N(-)M(-)SS、stage II。

検 討：大腸癌の診断には、腹部超音波も有用な場合があるため、積極的に施行することも重要と
考えられた。

〔西部症例〕

提出者：鳥取大学第二内科 細田明秀
(現 細田内科医院)

67才、男性

現病歴：平成12年10月末より排便困難が出現し、鳥取大学第二内科を受診。下部消化管の精査を受ける。注腸検査では直腸(Rb)前壁に約10mm大の扁平隆起性病変を認めた。大腸内視鏡検査では同部の病変は中心が発赤陥凹した扁平隆起性病変であった。

検討：検討会での診断は肉眼型がⅡa+Ⅱcで深達度smの早期癌と考えられるとのことであり、注腸透視と内視鏡所見より深達度についての議論が行われた。

経過：初回の内視鏡所見では病変の隆起立ち上がり部分の粘膜はやや浮腫状であるがほぼ正常粘膜であり、陥凹部分も発赤は強いものの、結節・顆粒・絨毛状変化などの腫瘍性変化を疑う所見は乏しく、生検組織所見では悪性像は見られず、平滑筋線維と繊維組織の増生(fibro-muscular obliteration)を認めたことより粘膜脱症候群と診断した。また、緩下剤の使用と排便時間の短縮により、症状および内視鏡所見はともに軽快した。

コメント：会場より拡大内視鏡、超音波内視鏡の検討が必要であるとのコメントをいただいた。

6 . 肝臓がん検診症例研究会

日 時 平成15年 2月22日 (土) 午後 4 時

場 所 鳥取県西部医師会館

東・中・西部地区より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 松 田 裕 之

67歳、女性

既往歴：昭和55年子宮筋腫手術の際輸血施行される

家族歴・飲酒歴：特記事項認めず

現病歴：平成 9 年肝臓がん検診の際、HCV抗体陽性を指摘され、平成10年 6 月精査のため当院初診、HCV RNA陽性よりC型慢性肝炎と診断される。以来、定期経過観察中、平成13年 6 月超音波検査上肝SOLを指摘され、精査のため入院。

入院時検査成績：GOT 22U/l、GPT 16U/l、Alb 4.0g/dl、T. Bil 0.9mg/dl、PT112%、ICG 5 %、AFP 6 ng/ml

画像診断のまとめ：超音波検査 S6 径10mm hyper echoic lesion

ダイナミックCT 同部 iso ~ high ~ iso

ダイナミックMR 同部 T1WI low, T2WI high, Early enhancement (+)

DSA 同部 tumor stain (+)

CT AP 同部 defect (+)

CT A 同部 stain (+)

以上より、C型慢性肝炎に合併した肝細胞癌と診断された。

診 断：肝細胞癌、T1・臨床病期 1 期

治 療：平成13年 7 月S6腫瘍に対し、経カテーテル的肝動脈塞栓術施行。初回治療時、S3、S7に A P shuntが認められ、腫瘍の肝内転移または多中心性発癌が危惧されたが、治療後 1 年 4 か月後のダイナミックCT所見では再発は認められていない。

考 察：肝臓がん検診によりC型慢性肝炎を指摘され、定期超音波検査により小肝細胞癌が診断された典型的症例。トランスアミナーゼが安定した経過を呈する症例であっても、慢性肝炎症例のフォローアップにおける定期超音波検査の重要性があらためて認識された。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 佐 藤 徹

62歳、男性

現病歴：昭和52年より慢性肝炎ありと指摘されていた。平成 6 年よりC型慢性肝炎にて近医で加療されていたが、肝機能不安定でありインターフェロン治療目的に平成 8 年 2 月当院精査入院。GOT 90IU/l、GPT 222IU/l、GTP 180IU/l、血小板11万、HCV RNA1 20MEQ/ml、肝組織HAIscore(4 3 3), f = 2、インターフェロンにて8週間治療。その後肝機能はほぼ正常化、HCV RNA陰性となった。以後定期検査していなかった。平成13年 4 月の検診にて便潜血陽性を指摘され、同年 5 月 9 日当院受診。肝機能の精査も勧めた。GOT 30IU/l、GPT 46IU/l、GTP 47IU/l、血小板13.3万、HCV RNA定性陰性。以後定期検査中、平成14年 9 月12日の腹部エコー、9 月20日腹部CT、10月24日腹部MRIにて

肝S8に約2 cm大のSOLあり10月29日血管造影、CTAP、CTA施行した。

血管造影時の検査所見：血小板15.3万、PT 11.2秒、GOT 31IU/l、GPT 44IU/l、GTP 39IU/l、T. Bil 1.0mg/dl、ICG 15.7%、AFP 3.9ng/ml、PIVKA II 575mAU/ml、HCV RNA定性陰性。

画像診断所見：

腹部超音波；S8に約2 cm大のhyper echoic lesion

腹部dynamic CT；同部、造影前low、early phase high、delayed phase lowの約2 cmの腫瘍

腹部MRI；同部、T1WI low、T2WI high、Feridexのとりこみのない境界明瞭な約2 cm大の腫瘍。

血管造影；同部、tumor stain(+)

CTAP/CTA；同部、defect/stain

以上より肝細胞癌と診断した。

治療：血管造影時TAE施行、lipiodolの入り不足の部位あり、追加治療検討目的に鳥取大学第二内科紹介。12月4日ラジオ波焼灼療法施行された。またこの時点での肝組織はHAIScore (1,1,1), f = 1でありインターフェロン治療による改善が認められた。

考察：C型慢性肝炎に対するインターフェロン治療にてHCV RNA定性陰性化し、治療約6年後に発見された肝細胞癌の一例である。インターフェロン治療にて著効であり、本人定期検査をしていなかったが、幸いにも治療可能な時期に発見された。定期検査の勧奨を充分に行う必要を感じさせられた一例であった。

〔西部症例〕

提出者：鳥大医第2内科 川上万里

症例1：65歳、男性

既往歴：8歳 左肘骨折 30歳 虫垂炎切除術 60歳帯状疱疹

家族歴：妻HBsAb陽性、二子がHBsAg陽性

生活歴：喫煙歴 なし 飲酒歴 ビール350ml/日×40年 輸血歴 なし

現病歴：50歳と56歳の時、慢性B型肝炎として、他院にてインターフェロン治療を受けた。その後、通院を自己判断にて中断した。平成14年10月28日、感冒症状にて近医受診し、肝機能異常を指摘されて、当科紹介された。外来にて腹部エコー検査上異常陰影を認めたため、精査加療目的にて入院となった。

検査成績：TB 1.2mg/dl alb 3.7g/dl AST 41IU/L ALT 45IU/L ALP 324IU/L PT 64.4% ICGR15 16% AFP 46590ng/dl L3 92.9% PIVKA II 1363mAU/ml HBs Ag(+) HBe Ag(-) HBe Ab(+) HBc Ab(+) HBV DNA(TMA) 4.2LGE/mL P III P 0.60U/mL IV型 collagen 7S 6.2ng/mL ヒアルロン酸180ng/mL

画像診断：腹部超音波検査S7/8に6 cm大のhaloを伴ったmosaic patternのSOL、S6に肝外突出型で2.5cm大のhaloを伴ったmosaic patternのSOL

dynamic CT検査S7/8、S6の腫瘍は共に被膜濃染、内部low density areaを伴う腫瘍濃染を呈した。

CT AP/CT A CT APにてS7/8、S6の腫瘍は共に灌流欠損を認めた。S7/8腫瘍よりextravasationを認め、腫瘍ruptureが疑われた。

治療：両腫瘍共にHCCと診断し、S7/8腫瘍に対してTAEを行った。その後治療法再検討したが、

切除術の適応はなく、TAEを再施行した。

症例 2 : 57歳、女性

主 訴 : 上腹部不快感 食欲低下

既往歴 : 54歳～パーキンソン病

家族歴 : 夫がHBsAb陽性 二子がHBsAg陽性

飲酒歴 なし 輸血歴 24歳出産時に少量あり

薬剤歴 抗パーキンソン病薬 (ECドパール)

現病歴 : 54歳時よりパーキンソン病にて他院通院加療していたが、血液検査にて肝機能異常を指摘されたことはなかった。平成14年9月より上腹部不快感および食欲低下が出現したため、11月近医受診した。血液検査および腹部超音波検査上異常所見を認め、当院紹介となった。

検査成績 : TB 1.5mg/dl alb 3.3g/dl AST 108IU/L ALT 57IU/L ALP 286IU/L PT 57.9% ICGR 15.41% AFP 122600ng/dl L3 92.9% PIVKA II 439200mAU/ml HBs Ag(+) HBe Ag(+) HBe Ab(-) HBc Ab(+) HBV DNA(TMA) 7.4LGE/mL P III P 1.2U/mL IV型 collagen 7S 12ng/mL ヒアルロン酸 110ng/mL

画像診断 : 腹部超音波検査 左葉全体が腫瘍に置き換わっていた。また門脈に塞栓があり、cavernous transformationを認めた。

dynamic CT検査 左葉全体が一塊の腫瘍を形成していた。下大静脈内に腫瘍塞栓を認めた。

CT AP/CT A 両葉に多数の腫瘍濃染を認め、左葉は新生血管の増生多数で、大きな腫瘍濃染を認め、AP、AVシャントを形成していた。また下大静脈内に腫瘍塞栓を認めた。

経 過 : 無治療。3カ月後死去した。

考 察 : いずれもHBVキャリアーであったが、根治不能の状態であった。B型肝炎ウイルスキャリアーはたとえ肝機能検査に異常を認めず、またHBe Abが陽性化していても、半年に一回の超音波、腫瘍マーカーのチェックが必要である。

7 . 各地区がん検診症例検討会開催状況

事業名	東 部			中 部			西 部			合 計		
	回数	症例数	参加者延べ数	回数	症例数	参加者延べ数	回数	症例数	参加者延べ数	回数	症例数	参加者延べ数
胃 が ん	15	32	513	7	20	174	20	3,091	455	42	3,143	1,142
子宮がん												
肺 が ん	3	12	57	7	28	98	12	122	86	22	162	241
乳 が ん	1	15	33	1	6	16	1	5	43	3	26	92
大腸がん	9	10	298	8	18	213	20	175	455	37	203	966
合 計	28回			23回			53回			104回		

Ⅳ．各がん検診精密検査医療機関登録について

平成10年度鳥取県成人病検診管理指導協議会総合部会及び各がん部会並びに鳥取県健康対策協議会各がん対策専門委員会において、がん検診の有効性向上のため、精度管理上、各がん検診精密検査医療機関登録の登録基準について、統一基準が決定し、これに基づき、各がん検診精密検査医療機関登録実施要綱等が次のとおり改正され、平成11年度以降の登録更新から適用することとしております。

なお、登録手続きは従来と同様に、地区医師会経由で申請を受付ます。ご不明の点がありましたら、鳥取県健康対策協議会事務局（☎0857 27 5566）へお問い合わせ下されば幸いです。

記

1．改正の要点

- ① 平成11年度以降の登録更新から従事者講習会等の出席状況を点数化し、点数基準を満たしたもののについてのみ登録する。
- ② 登録基準点数は原則として、従事者講習会は5点、各地区症例検討会等、各ブロック学会等は3点とする。
- ③ 点数の取得は担当医師ごととし、申請書の様式は、出席状況が確認できるよう改正を行う。
- ④ 新規開業、県外転入等の場合についても同様に扱う。
- ⑤ 担当医師が非常勤の場合は登録を認めない。

2．次回の更新時期

平成15年度より登録期間が、3年間となりましたので、ご留意下さい。

名 称	現在の登録期間	次回更新手続き時期	従事者講習会等 受講点数対象期間
胃がん検診精密検査	H15.4.1～H18.3.31	H17年度中	H15.4.1～H18.3.31
子宮がん検診精密検査	H15.4.1～H18.3.31	H17年度中	H15.4.1～H18.3.31
肺がん検診精密検査	H14.4.1～H17.3.31	H16年度中	H14.4.1～H17.3.31
乳がん検診精密検査	H14.4.1～H17.3.31	H16年度中	H14.4.1～H17.3.31
大腸がん検診精密検査 (注腸X線)	H14.4.1～H17.3.31	H16年度中	H14.4.1～H17.3.31
肝臓がん検診精密検査	H13.4.1～H16.3.31	H15年度中	H13.4.1～H16.3.31
肺がん一次検診	H14.4.1～H17.3.31	H16年度中	H14.4.1～H17.3.31
乳がん一次検診	H15.4.1～H18.3.31	H17年度中	H15.4.1～H18.3.31

あ と が き

検診事業の運営上、重要な一面を占める精度管理については、成人病検診管理指導協議会の各部会と鳥取県健康対策協議会の各検診対策専門委員会との合同会議で検討を重ね、会長の言葉にもあるように一層の向上に努めております。

鳥取県で実施している各種がん検診の実績を全て公表し、精度管理について評価、批判を戴くための報告書の第9報です。

この報告書は単年度のがん検診の詳細な全体像も一覽いただけるものと考えます。この点においても参考にして戴ければ幸いです。

ただ、がん検診実績は追跡調査、予後調査まで含まれているため、前年度の実績内容となっておりますので、ご承知下さい。

編集にあたり、各部会長、各専門委員長の先生方には多々御助言を戴きました。厚く御礼申し上げます。

最後に、発刊に際し、県医師会常任理事岡本公男先生に御指導をいただきました。また、県医師会事務局の岩垣陽子さん、小林昭弘さんには何時もの様に強力なお手伝いを頂きました。

皆様に心から御礼申し上げます。

鳥取県健康対策協議会

理 事 宮 崎 博 実